

第七十五回 帝國議會 所得稅法改正法律案外三十件 小委員會議錄(速記)第七回

衆議院 委員中地方稅法案外七件

小委員會議錄(速記)第七回

會議
昭和十五年三月十一日(月曜日)午前十一時
開議

出席委員左ノ如シ

小委員長 小山倉之助君

理事川崎末五郎君 理事内藤 正剛君

理事瀧澤 七郎君 長野 高一君

飯田 助夫君 宮本雄一郎君

森田 福市君 小見山 七十五郎君

永江 藤本 捨助君

田中 好君 青木 作雄君

山川頼三郎君 阪野徹太郎君

塚本 三君

三月十一日委員伊藤五郎君及小見山七十五郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ濱野徹太郎君及田中好君ヲ委員長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

内務大臣 伯爵兒玉 秀雄君

内務省地方局長 挾間 茂君

内務書記官 三好 重夫君

小委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員立川 平君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地方稅法案(政府提出)

地方分與稅法案(政府提出)

府縣制中改正法律案(政府提出)

市制中改正法律案(政府提出)

町村制中改正法律案(政府提出)

北海道會法中改正法律案(政府提出)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)

地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)

町村制中改正法律案(政府提出)

北海道會法中改正法律案(政府提出)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)

地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)

○小山委員長 是ヨリ開會致シマス、此ノ際宮本君ニ質疑ヲ許シマス

○宮本委員 町村ノ配付稅ニ付テ一寸御伺致シマス、此ノ配付方法ハ、色々説明ヲ伺

ハ、自轉車稅ハ廢止シタク、斯ウ云フ意見ヲ私ハ持ツテ居リマス、此ノ獨立稅ノ立テ

方ニ付キマシテハ、町村ノ事情ニ依ツテ、

過日來ノ御答辯ヲ伺ヒマスト、此ノ法律ニ

掲ゲテアル稅種目ニ該當スルモノガアリ

マシテモ、町村ノ決メ方ニ於テハ廢メテモ

宜シイ、或ル一種カニ二種ノ獨立稅ヲ取り、

又ハ全部住民稅ダケニシテモ宜シイ、斯ウ

云フヤウニ伺ツテ居リマスカラ、町村ノ事

情ニ依ツテハ、其ノ條例中ニ新タニ許可ヲ

入ノ狀況ヲ斟酌セラレルト云フヤウナ配付

方法ヲ考慮セラレテ居ルノデアリマスカ、

御伺致シマス

○挾間政府委員 配付ノ基準ハ其ノ年其ノ年ニ依ツテ違フ譯デアリマシテ、唯配付ノ

基準トナリマスモノハ國稅、詰リ地租、家屋稅、營業稅ノ各團體ニ於ケル稅收額ト云

フモノガ基礎ニナル譯デアリマスカラ、他

ノ獨立稅等ハ其ノ標準ニハ加ツテ居リマセヌ、其ノ年度々々ノ稅收額ト云フモノガ基準トナツテ、ソレガ少い場合ニハ多ク配付稅が行キ、ソレガ多イ場合ニハ少クナル、

斯ウ云フヤウニ動イテ行ク譯デアリマス

○宮本委員 ソコデ尙ホ御伺致シタイ點

ハ、自轉車稅ハ廢止シタク、斯ウ云フ意見ヲ私ハ持ツテ居リマス、此ノ獨立稅ノ立テ

方ニ付キマシテハ、町村ノ事情ニ依ツテ、

過日來ノ御答辯ヲ伺ヒマスト、此ノ法律ニ

掲ゲテアル稅種目ニ該當スルモノガアリ

マシテモ、町村ノ決メ方ニ於テハ廢メテモ

宜シイ、或ル一種カニ二種ノ獨立稅ヲ取り、

又ハ全部住民稅ダケニシテモ宜シイ、斯ウ

云フヤウニ伺ツテ居リマスカラ、町村ノ事

情ニ依ツテハ、其ノ條例中ニ新タニ許可ヲ

入ノ狀況ヲ斟酌セラレルト云フヤウナ配付

方法ヲ考慮セラレテ居ルノデアリマスカ、

御伺致シマス

○挾間政府委員 配付ノ基準ハ其ノ年其ノ

年ニ依ツテ違フ譯デアリマシテ、唯配付ノ

基準トナリマスモノハ國稅、詰リ地租、家

屋稅、營業稅ノ各團體ニ於ケル稅收額ト云

フモノガ基礎ニナル譯デアリマスカラ、他

ノ獨立稅等ハ其ノ標準ニハ加ツテ居リマセ

ヌ、其ノ年度々々ノ稅收額ト云フモノガ基

準トナツテ、ソレガ少い場合ニハ多ク配付

稅が行キ、ソレガ多イ場合ニハ少クナル、

斯ウ云フヤウニ動イテ行ク譯デアリマス

付託議案

地方稅法案(政府提出)(第四七號)

府縣制中改正法律案(政府提出)(第四九號)

市制中改正法律案(政府提出)(第五〇號)

北海道會法中改正法律案(政府提出)(第五一號)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)(第五二號)

府縣制中改正法律案(政府提出)(第五三號)

地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)(第五四號)

キタイデスカラ、ソレダケノ御答辯ヲ願ヒ

タイト思ヒマス

○挾間政府委員 今御述ニナリマシタ通り

ノ處置ヲ各市町村ニ於テ自由ニ執ツテ差支

ナイト思ヒマス

○宮本委員 是デ私ノ質問ハ宜シウゴザイ

マス

○小山委員長 ソレデハ濱野君、アナタハ

事務的ノ方ノ質問ハアリマセスカ

○濱野委員 事務的ノハアリマセヌ

質問ハアリマセスカ

○小山委員長 塚本君、アナタハ事務的ノ

質問ハアリマセスカ

○塚本委員 アリマセス

○森田委員 委員長、大臣ハ來ラレマスカ

○小山委員長 今來ラレマスガ、アナタ御

質問ガアレバ、ドウゾ……

○森田委員 地方局長ノ御話ハ私ニハ分り

ニ規定ヲ設ケルト云フコトハ、地方自治ノ上カラ適當デナイト思ヒマス、今申上ゲマシタヤウナ地元ニ於テ適當ナ案ヲ考究致シシムルヤウニ致シタイト思ツテ居ルノデマシテ、縣會ノ議決ヲ經テ案ノ内容ヲ決定シテハ考ヲ持ツテ居リマスケレドモ、出來得ル限り地方ノ事情ニ即應シタヤウナ案ガ地元ニ於テ出來ル、ソレヲ本省トシマシテモ十分検討ヲシテ、最モ適切ナモノヲ選ンデ進マセルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ、今其ノ措置ノ進行中デアリマス

○森田委員 地方局長ノ御話ハ私ニハ分りマシタガ、兩市ノ者ノ熱望ハ三部制ヲ存置シタイ、若シ廢止スル場合デモ二三箇年間ハ延バシテ吳レスカトスウ言フノデス、都制案ト云フモノハ私ノ見ル所デハ此ノ税制改革案ト一緒ニ出レバ宜イノデハナカツタカ、別レ、出タカラ斯ウ云フ運動方起テ來タノデアルガ、今アナタノ御話ノヤウニ、縣ニ於テ適當ト思フ案ヲ具シテ來レバ、内務省ニ於テモ考慮スルト言スハレルガ、ソレハ三部制ヲ廢止シタ既ノ案ナンデヤナイカ、今兩市ガ熱望シテ居ルノハ三部制ヲ存置シテ置イテ吳レ、假ニ廢止スルニシテモ來年度カラ廢止セズシテ、二三箇年間置イテ吳レスカト云フ趣旨ナノデアルカ、今アナタノ仰シヤルヤウニ縣ガ練ルト云ツテモ、三部制ヲ廢止シタ後ニドウ云フ案ヲ練ルカ、私モ此ノ三部制ニ付テハ廣島県ニモ居リ、當時縣会ニモ關係シテ居ツテニ——負債ノ關係ガ相違シテ居リマスシ、又將來ノ縣政運用上ノ圓滿ヲ期スル爲ニ色々ルベキ措置ガアルト思ヒマス、隨テ只今關係ノ知事ヲコチラニ招致シマシテ、善後措置ヲ考案スルヤウニ話フシテ、折角今考究案ヲ練ツテ居ル所デアリマス、唯此ノ問題ノ解決ニ付テ勅令或ハ省令等デ決定的

テ居ツタ、連帶費、市部費、郡部費ト云フ煩雜デモアリ、又各縣ノ事情ニ依ツテ違フト思ヒマスカラ、省略致シマスガ、ソレ等ノ一本建ニシテ行クノデアルカラ、一本建シタヤウナ地元ニ於テ適當ナ案ニ付キマシテ、只今關係知事ニ於テマシテ、縣會ノ議決ヲ經テ案ノ内容ヲ決定シテハ考ヲ持ツテ居リマスケレドモ、出來得ル限り地方ノ事情ニ即應シタヤウナ案ガ地元ニ於テ出來ル、ソレヲ本省トシマシテモ十分検討ヲシテ、最モ適切ナモノヲ選ンデ進マセルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ、今其ノ措置ノ進行中デアリマス

○森田委員 地方局長ノ御話ハ私ニハ分りマシタガ、兩市ノ者ノ熱望ハ三部制ヲ存置シタイ、若シ廢止スル場合デモ二三箇年間ハ延バシテ吳レスカトスウ言フノデス、都制案ト云フモノハ私ノ見ル所デハ此ノ税制改革案ト一緒ニ出レバ宜イノデハナカツタカ、別レ、出タカラ斯ウ云フ運動方起テ來タノデアルガ、今アナタノ御話ノヤウニ、縣ニ於テ適當ト思フ案ヲ具シテ來レバ、内務省ニ於テモ考慮スルト言スハレルガ、ソレハ三部制ヲ廢止シタ既ノ案ナンデヤナイカ、今兩市ガ熱望シテ居ルノハ三部制ヲ存置シテ置イテ吳レ、假ニ廢止スルニシテモ來年度カラ廢止セズシテ、二三箇年間置イテ吳レスカト云フ趣旨ナノデアルカ、今アナタノ仰シヤルヤウニ縣ガ練ルト云ツテモ、三部制ヲ廢止シタ後ニドウ云フ案ヲ練ルカ、私モ此ノ三部制ニ付テハ廣島県ニモ居リ、當時縣会ニモ關係シテ居ツテニ——負債ノ關係ガ相違シテ居リマスシ、又將來ノ縣政運用上ノ圓滿ヲ期スル税制ノ大改正案ヲ成スルコトニ對シテ、其ノ勞ニシテ如ク、私ハ案ヲ作成スルコトハ十分可能デアルト考ヘテ居リマス、此處ニ具體的ニ

ノ案ヲ出サナケレバナラヌヤウニナツテ來

テ、茲ニ現ハレテ來タノデスカラ、非常ニ

短時日デス、短時自デアルカラ、其ノ局ニ

アル人々ハ本當ニ智囊ヲ絞ツテ御ヤリニナツカ、又其ノ勞苦ハ認マラレマス、併シナガラ茲ニ出タ案ヲ一々検討シテ行

クト、私ハ是ハ完全ヲ期シタ案トハ申上ダ

ツタコトデアリ、又其ノ勞苦ハ認マラレマス、併シナガラ茲ニ出タ案ヲ一々検討シテ行

ハ——内務大臣ハ此ノ税ニ付テ御經

驗ガアルカナイカハ存ジマセヌガ、之ヲ機

問題カラ内務大臣ニ一ツ卒直ニ聽キタイノ

ハ——内務大臣ハ此ノ税ニ付テ御經

驗ガアルカナイカハ存ジマセヌガ、之ヲ機

ヲ御諒解願ツテ置キタイト思フノデアリマ

ス

○森田委員 色々述ベラレマシタガ、要ス

ルニ私ハサウ質問ヲ深刻ニシテ行カウト云

フ考ヲ持タズ、唯簡單且ツ明瞭ナ答辯ヲ得

テ行キサヘスレバ宜イノデアリマス、負擔

ノ均衡ヲ期スルト云フノガ今度ノ税革案

ノ本旨デアルコトハ、私ハ大正十何年カ

ラ税制ノ委員ヲヤツテ來テ居ルガ、能ク此

ノ問題ハ論ゼラレテ來タコトデアリ、又改

正スル時ニハサウシナケレバナラヌ筈デア

ル、今アナタノ御話ニナル負擔ノ點カラ

云ヘバ、質問者ノ言フ通りデアルガ、其ノ

他ニサウデナイ點ガアルヤウナ意味ノ御話

ガアリマシタガ、サウデハアリマセヌ、此ノ

税ト云フモノハ負擔ダケヲ論ズルノデアツ

テ、負擔ニ關シテ思想ノ問題デアルカ、政

治ノ問題デアルカ何カ知リマセヌガ、負擔

色言ハズニ御答辯ハ簡単デ宜シイガ、營業

顧ツテ戴ケバ大變結構ナコトデアルト思ヒ

居ラレルノデアルカラ、ドウカ篤ト御考ヲ

テモ永久ニオヤリニナリマセウガ、假ニ内

閣ガ潰レテモ、現内務大臣ノアナタハ、貴

族院議員ノ有力者トシテ研究會ヲ牛耳ツテ

所得者ヤ證券所得者ヨリモ地方費ヲ多く負

担スルモノト認メラレマスカ

○兒玉國務大臣 是ハ税ノ負擔ノミヲ以テ

此ノ議論ヲ終始スルト云フ事柄ハ、必ズシ

モ正鶴デハナイト思ヒマスケレドモ、併シ

御問ニ對シマシテハ、配當所得並ニ俸給生

活者ト申ジマスカ、是等ノ負擔ハ、只今御

話ニナリマシタ土地家屋等ノ負擔カラ比べ

テ個人ノ立場ヲ即断スルコトハ、是ハ他ノ

場合ヲモ考慮ニ加ヘテ考ヘナケレバナラヌ

點モアリマズコトハ、只今御質問ニナリマシタ裏面ニサウ云フコトガアルト云フ事柄

認メテ居ル、何故サウ云フ事業所得者及び

不動産所得者ノミヲ冷遇スルカ、私ハヤハ

リスウ云フ場合ニハ勤勞所得、配當所得、

ス、尙ホ此ノ地方費ノ負擔ノ外ニ——内務

大臣ハソコマデ御研究ニナツテ居ルカ居ナ

スモ三者ダケデス、市町村ノ都市計畫税附

イカ存ジマセヌガ、都市計畫税ノ附加税ト

アルト云フコトハイカナイ、此ノ點ハ委員

負擔スベキ結合ノモノデハナイカト思フ、所

得ニ依ツテ地方費ヲ負擔スル者トセヌ者ガ

アルト云フコトハイカナイ、此ノ點ハ委員

諸君ハ勿論ノコト、私ハ政府當局モ此ノ

缺點ハ認メラレナケレバナラヌト思フ、又

何トカ考慮シナケレバナラヌト思フ、サウシナケレバ、不公平モ亦極マレリト云フコ

トニナル、地方費ヲ證券所得者、勤勞所得

者ヨリ吾々ニ多ク負擔ヲサセル、餘計ノ負

擔ヲサセルト云フコトガ分ツタナラバ、思

想上好イ結果ヲ來スデアリマセウカ、私

ハ思想上カラ言ウテモ左様ナ事ヲスベキデ

ハナイト思フ、ヤハリ是ハ建前ヲ分ケテ、

勤勞所得者ト證券所得者ノ所得ハ附加税ヲ

取ラヌガ、分與税デ差戻ス、營業所得者、

土地所得者、建物所得者ノ所得税ハ税率デ

モ下ガテ行クカ、ソレデナケレバ是等ノ人

人ノ所得ニ對シテハ地方費ヲ負擔サセナイ

トカ、ヤハリ何カソコニハツギリトシテ置

カヌト、是等ノ三者ノ所得ノミハ地方費ヲ

二者ヨリモ多ク負擔サスト云フ頭ヲ持タセ

ハ不公平デス、若シ之ヲシモ政府ガ公平ナ

テ行クコトガ良イカ惡イカ、思想上カラ言

ウテモ、實際ノ負擔ノ上カラ言ウテモ、是

マス、如何ナル譯デ營業所得者、建物所得

者、土地所得者ガ地方費ヲ勤勞所得者、證

券所得者ヨリ多ク負擔シナケレバナラヌカ、

ドンナ理窟モ出テ參リマセヌ、此ノ點ハ深

シテ貴ヒタイ

○兒玉國務大臣 改メテ申上ゲルマデモナ

ク、御承知ノ通リニ今回ノ稅制ハ中央、地方
ヲ通ジマシテ負擔ノ均衡ヲ是正シテ行クト
云フコトガ大體ノ建前ニナツテ居ルノデア
リマス、或ル點ニ付テハ兩者ハ不可分ノ關
係ニナツテ居ルコトハ御承知ノ通リデアリ
マス、而シテ此ノ土地竝ニ家屋ニ關シマス
ル課稅ノ場合ヲ考ヘテ見マスルト、市町村
團體ガ茲ニ課稅ヲ致シマシテ或ル施設ヲス
ル、其ノ施設ニ依ツテ得ル所ノ利益ノ主ナ
ルモノハ、土地ナリ家屋ナリノ所有者ニ直
接是ガ還元セラレルト云フ點ニアリマスル
ノ反シマシテ、配當利子ノ如キハ是ハ其
ノ土地ニ於テ必ズシモ其ノ利子配當ヲ受ク
ルニアラズシテ、他ノ地方、他ノ所ニ於キ
マシテ其ノ利益ヲ受ケルト云フ關係モアリ
マスシ、殊ニ俸給所得者ニ至リマシテハ、
土地竝ニ家屋ノ所有者ノ如クニ、地方團體
ノ施設ヨリ直接ノ利益ヲ受ケル程度ガ低イ
ノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ點カラ考ヘ
テ見マスト、土地、家屋ノ所有者ニ對シテ
幾分ノ負擔ヲ加ヘルト云フ事柄ハ、受益ノ
關係カラ見マシテモ負擔ノ均衡ガソレニ依
ツテ得ラレル結果ニナル、斯ウ云フ事柄ヲ
申上ゲタイガ爲ニ、私ハ前キニ但書ノヤウ
ナモノヲ申上ゲタ譯デアリマス、而シテ都
市計畫稅ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ成程
勤勞所得者モソレニ依ツテ利益ヲ受ケルニ
ハ相違アリマセヌ、一般的ノ市町村ノ計畫
ニ關係スルモノデアリマスルカラ、間接又
ハ直接ニ一般ガ利益ヲ受ケルコトハ當然デ
アリマスルケレドモ、特ニ利益ヲ受ケル所
ノ或ル者ガアルノデアリマス、特ニ利
益ヲ得ル者ニ向クテ之ニ應ジテ課稅スル、
斯ウ云フ關係ニナルノデアリマス、特ニ利

バ、多クハ土地又ハ家屋ニ關係スル所ノ者
ガ其ノ場合ニ於テ利益ヲ受ケルノデアリマ
スルカラ、其ノ點ニ於キマシテモ、結果論カ
ラ申シマスレバ、必ズシモ均衡ヲ得ナイト
ハ考ヘラレナイノデアリマス
○森田委員 是ハ内務大臣ト議論ヲヤツテ
モ仕方ガナイ、今ニアナタノ御答辯ハ肯定ハ
致シマシタト申上ゲタイノデスガ、肯定ハ
出來ヌノデス、何デ出來ヌカト云フト、ア
ナタノ今ノ御話ノ土地トカ建物ヲ持ツテ居
ル者ト、勤勞所得者、證券所得者トハ、地
方費ニ於テ施設ヲ行フ場合ニ受益ノ程度ガ
違フカラ、土地、建物、營業所得者ハ餘分
ニ負擔サシテモ宜イデヤナイカト云フ御議
論ハ、一應素人ノ前デハソレデ宜シイ、併
シ本當ハソレガ爲ニ税率ヲ變ヘテアル、勤
勞所得稅ノ稅率ト土地建物ノ所得稅ノ稅率
ヲソレガ爲ニ變ヘテアル、勤勞所得稅
ハ百分ノ六、貸家ナドノ所得稅ハ百分
ノ十、本稅デサウ云フヤウニ稅率ヲ變
テアル、ソコニ其ノ爲ニ百分ノ四變ヘ
テアル、是ハ前カラ何時デモ國稅ノ委員會
デモ地方稅ノ委員會デモ論ゼラレタコ
トデアルガ、本稅率ト云フモノヲ變ヘテ
アル、デアルカラ貸家ノ方ハ、アナタノ今
御話ニナツタヤウナコトガアルカラ稅率ヲ
高クシテアル、其ノ高イ稅率ヲ納メタ分デ
トン／＼ノコトニナツテ居ル、其ノ他ニ營
業ナリ、建物ナリ土地ノ所得者ガ地方費ヲ
餘分ニ負擔スルト云フコトハ當ヲ得ナイ、
若シ其ノアナタノ御説デ行クナラバ、所得
稅率ヲ同額ニシテ置イテ、ソレカラ地方費
建前ニナツテ居リマセヌ、デアルカラ其ノ
一部ヲ負擔サスノナラバ、今ノアナタノ
御説モ肯定出來ルガ、ソレガサウ云フ風ノ

御方デモ物分リノ悪イ人ハ居ナイト思フ、私ハ當局ノ
唯此ノ税法ヲ通ス爲ニ、自分達ガ立案シタ
ノデアルカラ少々惡クテモ良イ方ヘコジツ
畫稅モ今ノヤウナ御趣旨ノ御話ガアリマシ
タガ、是モ當ツテ居リマセヌ、若シサウ云
ノ御話ノ都市稅ノ問題デアリマス、都市計
算稅ヲ取ツテ居リマス、アレハドウ云フ受
益ガアルデセウカ、道路ガ「アスフルト」ニ
ナラウガ、何ニナラウガ何ノ關係ハアリマス
セヌ、自轉車ニ都市計畫稅ヲ課ケルノハ當
然デアル、道路ニ「アスフルト」ヲヤツタカ
ラ取ルト云フコトハ分ルノデアリマスガ、
「アスフルト」ノ上ヲ走ル漁船ノアルコト
ヲ私ハ知ラナイ、隨テ此ノ問題バヤハリ私
ハ月給取デアラウガ、證券業者デアウカ
ガ——寧ロ證券ヲ持ツテ居ル人ナドノ方ガ
配當金ヲ取リニヤツタリ、株屋ヘ通ツクリ
スル爲ニ、自動車ニモ自轉車ニモ餘計乗ラ
ナケレバナラナイ、其ノ點ヲ論ズルナラバ、
月給取ガ自轉車ヘ乗ツテ縣廳ヤ内務省ニ通
ウテモヤハリ「アスフルト」ノ上ヲ走ル受
益者デス、然ルニ月給取ハ必ズシモ都市計
畫ノ受益者デハナイ、證券業者ハ都市計畫
ノ受益者デハナイガ、漁船ハ受益者デアル
ト云フコトハイカヌ、是ハ都市計畫稅ヲヤ
ル時ニ、モウ少シハツキリヤツテ戴キタイ、
若シ負擔サズ時ニハ各階級ニ各、負擔サス
カ、サウデナケレバ、本當ニ都市計畫ニ依
ル受益者ダケニ負擔サストカ、其ノ施設ノ
兩側ニサストカ——都市計畫ヲ實施サレタ
最初ハ、アノ山縣氏ガ都市計畫課長ノ時ニ

ニナツタコトデアラウト思ヒマスガ、切取ラレヌ方ガ負擔シテ、切取ラレル方ハ負擔ヲセヌノダ、斯ウ云フヤウナ建前ヲ執ツタト云フコトガアル、道路ヲ附ケル時ハサウデアル、ソレガ今日デハ下水ヲ造レバ、下水受益者負擔ト云フモノヲ取ツテ居ル、アリマスカラ都市計畫ト云フモノハ、今日デハ大體道路、橋梁ト言ツタヤウナモノヲ、其ノ費用ニ充テナケレバナラヌガ、本當ニ地方ニ一種ノ稅源ヲ興ヘルト云フ名前ヲ作ツテヤツタダケデアツテ、必ズシモ都市計畫稅ト云フモノヲ取ツテ、都市計畫ヲ實行シリマス、サウスルト都計稅ト云フモノヲ私ハ土地、建物、ソレカラ營業、或ハ今ノ船舶等ノ雜種稅ヲ取ツテ居ル方面ニノミ負擔サセズニ、若シ負擔サセヌト云フナラバ、漁船ノ如キ、僅ニ其ノ日ノノ漁ヲシテ生活シテ居ル者カラ都計稅ヲ取ルベキ筋合ノモノデナイ、是ハ昨年カ一昨年ノ委員會デ話ヲシタ時ニ、内務當局ハ考慮ヲスルト云ツテ居ル、速記錄ニ遺ツテ居ル筈デアリマス、併シナガラ考慮シタ結果取ルコトニナツノカモ知レマセヌガ、一向委員會ノ意見ト云フモノガ實現サレヌコトヲ遺憾トシテ、何等稅金ヲ取ルベキ譯ハナイ、船舶ノ所得デアル船舶業者デアルカ、漁船デアルイ、航路改良ヲヤツタナラバ船舶カラ取ツテモ宜イカ、陸ノ上ノ道路ヲヤル關係ニ於トカ云フモノニ負擔サズベキモノデハナ

シテハドウカト云フノガ私ノ意見デアリマス、之ニ關スル内務大臣ノ御答辯ヲ願ヒタ
イト思ヒマス

卷之三

○免玉國稅大綱 細カイコトハ政府委員ガ
ラ更ニ御説明申上ゲルコトニ致シマシテ、
察シマスルニ、今ノ船トカ何トカ云フモノ
ニ對シテノ受益關係ノ問題デアリマスガ、是
ハ恐ラク船著場トカ何トカ云フモノニ關係
ガアルガ故ニ、受益者ト認メテ是カラ取ル
ト云フ、ゴトニナルノガ常識的デアルト私ハ、
考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ成程配當
所得稅、俸給生活者其ノ者ト致シマシテハ、
之ニ課稅ガ行カナイコトニナツテ居ルノデ
アリマスケレドモ、最初ニ私ガ申上ゲマシ
タ通リニ、分與稅ノ性質カラ考ヘテ見テ、
此ノ所得稅ノ幾分ヲ配付稅ト致シマシテ地
方へ還元スルト云フ精神カラ見ルト、此ノ
兩者ニ於キマシテモ、國稅トシテ相當ナ負
擔ヲ負フ、而シテソレガ地方ニ還元サレテ
居ルト云フ事實ガアルノデアリマス、尙ホ
又此ノ配當利子所得者等ニ付テノ地方稅ト
シテノ課稅ガ、中々理論的ニ考ヘテ見マシ
テ難カシイ點ガアルノデアリマス、如何ニ
シテ之ヲ課稅シテ參リマスカ、又俸給所得者
ノミニ、更ニ是ハ獨立稅デアリマスカ、市
町村民稅デアリマスカ、之ヲ課スルト云フ
事柄モ亦考ヘナケレバナラ、又點ガアリマス、
殊ニ俸給生活者等ニ付キマシテハ、何トカ
良イ方法ガアレバ幾ラカ課ケテモ必ズシモ
惡イトハ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、太
ラ考ヘルノト、徵稅ノ方法等カラ考ヘマシ
テ、是等ノ點ハ現行通リニスルコトが適當

デアルト云フ結論ニナルノデアリマス、尙ホ重ネテ申上ゲマスト、土地建物等ト、其ノ利益ヲ受クル點ニ於テ、ソコニ程度ノ相違ガアルト云フ事柄モ、重大ナル理由由一ツトシテ附加ヘテ重ネテ申上ゲテ置キマス。

○森田委員 答辯ガ今ノヤウナ答辯デアルト私ハヤハリ申上ゲナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、今ノ所得税ノ地方分與税トシテ還付スルコトハ、私ハ何等申上ゲヌ積リデアリマスガ、是ハ勤労所得者ノモ、證券所得者ノモ、配當所得者ノ分モ、土地建物モ悉クソレガ同ジ税率ノ所得税ヲ取ラレルノデス、ソレヲ地方へ配付スルノデス、若シ土地所有者モ、建物ノ収益ノアル人モ營業ヲヤツテ居ル人モ皆地方ノ分與税トナツテ戻ラヌトスルナラバ、アナタ方ノ立論モ立ツテ來ル、ソレカラ受益ノ點デスガ、是ハ本税ノ方デ税率ヲ變ヘテアル、ソレカラ税ノ取りヤウガ困難デハナイカト仰シヤルガ、所得税ノ附加税ト云フモノハ從来取ツテ居ツタノデス、ソレカラ都市計畫税ト云フモノハ從來ハ所得税カラ取ツテナカツタ、ソコデ都市計畫税ト云フモノヲ勤労所得者カラモ、證券所得者カラモ取ル、即チ所得税ヲ納メル人間カラ都市計畫税ヲ取ラシメルオウニスレバ宜イ、取ラスベキ筋合デス、本當ヲ言フナラバ、都市計畫税ヲ今ノ三ツ及ビ其ノ他ノ地方税ノ雜種税ヲ納タル人ニノミ負擔サシテ、勤労所得者ト配當所得者ニハ之ヲ負擔サセヌヤウナ建前ヲ取ツテ行ク所ニ無理ガアリマス、是等ゾ人々ニ課ケルナラバ、證券所得者ニ課ケナイト云フ話ハナイ、立案者ノ方デモ、證券所得者カラ取レバ取レルケレドモ、是ハ勤労所得者ノ方ノ關係カラ取ラナイト言ハレル、一體ナゼ

斯ウ云フ風ニ勤勞所得者——勤勞所得者ト言ツテモ、何万圓ト云フ大ギキ、會社ノ賞與及ビ報酬ガ一年ニ五万圓、十万圓ト云フ人ガイ、大キナ月給取モ居ルノデス、月給取ト言ウテモ、何万圓ト云フ大ギキ、會社ノ賞與相当ノ數アル、デアルカラ私ハヤハリ勤勞所得モ配當所得モ、誰デアラウトモ、都市計畫税ト云フモノハ皆負擔サシテ行クベキモノデアル、土地、建物、營業ヲヤツテ居ル人ハ是等ノ附加税デ地方費ヲ負擔シ、其ノ他ニ都市計畫税ヲ負擔スルノデアルカラ、内務大臣ハソコヲヨク一ツ御考ヲ願ハナイト是等ノ人ハ營業者デアラウガ、營業収益稅ノ附加税ト云フモノヲ取ラレル、今度ハ「収益」ト云フ文字ヲ除イテ居ルガ、營業税附加税ト云フモノヲ取ル、ソレカラ地租ノ附加税ト云フモノヲ取ラレル、勤勞所得者ト證券所得者ハ、斯ウ云フ附加税ハ全然課カラヌ譯デアル、隨分是ハ高イモノニナル、私ハ計算シテ見テ驚イタノデアリマスガ、五万圓ノ營業所得者ハ合計四十五万五千圓トナル、全部ノ利得税、國稅地方稅ヲ合計シテ見ルト、四十五万幾千圓トナツテ居リマス、是ハ政府ノ示サレタ案デスカラ間違ヒガナイ、政府ノ出シタ案ニ書イテアル、其ノ位營業所得者ノ負擔ハ多クナツテ居ル、ソレハ地方費ノ負擔ガ要ラナイ、地方費ノ負擔ガ要ラナイカラ負擔ノ均衡ヲ國家トシテ税ガウンント減ツテ來ル、手取りガ多クナル、モ取ツテ居ラヌガ、私ノ言フノハ、此處ハ地方費ノ負擔ノ問題デアルカラ、地方ノ費用ノ

負擔モ同ジ地方ニ住居シテ居リナガラ負擔
ガ公平デナイ、地方住民税ト云フモノハ御
承知ノ通りニ勤勞所得者デモ誰デモ皆納メ
ル、營業者モ土地所有者モ建物所有者モ是ハ
皆納メルノダカラ、別ニ分ケ隔テハアリマ
セヌ、デアルカラ煎ジ詰メテ行クト、地方
費ノ負擔ヲ非常ニ多クスル者トシナイ者ト
出来ル、是ハ今度ノ稅制ヲ改革シヨウトシ
テ折角良イト思ウテ御出シニナツタ案デア
リマスカラ、唯内務省ノ獨斷デモイケナカ
ツタラウ、大藏省ト不可分ノ案ヲ作ラナケ
レバナラヌカラ困難デアツタハ思フガ、
併シ内務省トシテハ、同ジ國民ニ斯ウ偏頗
ナ負擔ヲサセラレヌト云フコトヲ主張シテ
貰ウテ、公平ニ負擔サセテ行クヤウニスレ
バ宜カツタ、若シ内務大臣ノ説明ノヤウニ
勤勞所得者ハ地方ノ受益者デアルカラ、所
得稅ノ國稅ノ所デ同一ノ稅率ヲ課ゲテ、サ
ウシテ附加稅ヲ認メテ行クナラバアナタノ
説ハ通ルノデアル、今度ノ法案ニ對シテハ
委員會デドウ云フ風ニ話合ガナルカ分リマ
セヌガ、兎モ角モ此ノ都市計畫稅其ノ他ノ
地方費ノ附加稅ニ付テハ將來問題ガ殘ル、
是等ノコトガ國民ニ知レ渡ツタ時ニハ、ア
ノ人々ハ地方費ノ負擔ハ吾々ヨリモ少イ、
同ジ所得ガアリナガラ少イ、吾々ハ地方費
ノ負擔ヲ餘分ニスルノダ、ドウシテア、云
フ風ニ一方ヲ庇ヒ一方ヲ責メルノカト云フ
コトニナツテ來ルコトダケハ御諒解ヲ願ヒ
タイ、之ヲドウ云フ風ニスルカト云フコト
ニ付テハ、私ハ此處デ一一ノ意見ハ言ハナ
イ、併シナガラ昭和三年デアツタカ、吾々
政友會ノ者ハ、營業収益稅ト地租ト云フモ
ノハ地方ニ還元シテ地方ノ稅源ニセヨト云
フコトヲ、私ハ貴族院デ言ツタノデアリマ

ス、今度モ一應取上ゲテシマフ、サウ云フ
モノヲ國方國稅トシテ取ツテ、サウシテ分
與稅トシテ戻ス、ドウ云フ得ガアルカ存ジ
マセヌガ、市町村會議員ハ縣廳へ來テ頭ヲ
下ゲテ行ク、縣廳ノ役人ハ今度ハ縣會議員
ト同道シテ内務省へ行クト内務省デ頭ヲ下
ゲサス、頭ヲ下ゲサシテ痛快ガル人モアラ
ウケレドモ、本當ハ忙シイノダカラサウマデ
シナクテモ宜イノダケレドモ、悉ク頭ヲ下ゲ
サセナケレバ一步も通サスト云フ關門ヲ作
ツテ置キ、サウヤツテ餘分ノ所カラ取上ゲ
テ貧弱町村ヲ救フト云フノデアルガ、ソレ
ハ現在デモヤツテ居ル地方財政調整交付金、
ソレデ宜イ、ソコデ一ツ内務大臣ニ御尋申
上ゲタイプハ、斯ウ云フ制度ヲヤツテ行ク
コトハ私ハ宜イトハ思ハヌガ、兎モ角モ茲ニ
原案トシテ現ハレテ居ルノデアルカラ、宜
イトハ思ハスト云フ批評ヲシテ置イテ、ソ
レカラ今度ハ次ノ段階ニ入ツテ行クト、今
後ハ都會ナドニ於テデモ其ノ他デモ稅源ガ
出來ルヤウナ事業ノ誘致ヲヤツテモ、結局
折角上ツテ來ル税金ハ大藏省へ取ラレル、
内務省ヘソレヲ分ケテヤルト云フヤウニナ
ツテ行クト或ル都市デ納メタモノヨリハ少
ク戻ツテ來ル、併シナガラソコニハ新シイ、
工場ナドガ出來タノデアルカラ、學校ノ施
設費、下水費、其ノ他道路等一般ノ施設ノ負
担ガ多クナル、サウスルト却テ人口ノ殖エル
コトモ嫌ツテ行クヤウニナルカラ、其ノ結
果善クナルカ惡クナルカト云フコトハ別ト
シテ、工場誘致ト云フ問題ハ火ガ消エタヤ
ウニナルト私ハ思フ、ソレハ結局產業ガ衰
ヘルコトニナルノデヤナイカ、其ノ反面ニ
農村ノ貧弱町村ハ救ハレルト云フ、私ハ斯
ウ云フ際ニハ現在ノヤウナ方法ヲ執ラヌ方

ガ宜イト思フ、内務大臣ハ此ノ税革案ガ出来タ後ニ御就任ニナツタノデアルカラ、サウ御考ニナツテ居ツテモ出来ナカツタカモ知レナイガ、本當ヲ言フナラバ、假ニ都市ニ於ケル税源ヲ其ノ儘都市ニヤル、貧弱町村ニハヤハリ現在ノヤウニ地方財政調整交付金ト云フモノヲ吳レテヤリサヘスレバ私外ニ途ハアリマセヌ、サウヤツテ行キサヘスレバ非常ニ穩當ナヤリ方ガ出來ル、今度ノ案デハ相當制限ヲシテ居ル、大都市中都巿カラ取上げテ、サウシテ貧弱町村ニ之ヲヤラウト云フ計畫ヲ立テタカラ斯ウ云フ風ニナル、隨テ今後大都市、中都市ガ工場誘致ナドヲヤツテ、其ノ市ノ施設ノ負擔ヲ多クスルト云フヤウナコトハ避ケナケレバナリマセヌ、避ケテ行カナケレバ持テヌ、サウスレバ内務大臣ヤ内務當局ハ、ソレハ起債ニ依ツテヤレバ宜イデヤナイカト云フヤウナコトヲ言フカモ知レマセヌガ、起債ニ依ツテヤレバ利子ノ負擔ガ子孫ニ残ツテ來マス、元本ノ償却ガ將來殘ツテ來マス、サウスルト色々ナコトデソコデ不都合ヲ生ジテ來テ、其ノ都市ハ繁昌スルドコロデハナイ、日ニ／＼寂レテ行ク、是ハ明カデスガ、此ヲ點ハドウ御考ニナリマスカ

的ニ地方ノ財政ヲ助ケテヤルト云フ、助長の意味ヲ含ンデ居ラヌノハ御承知ノ通りアリマス、併シ尙ホ其ノ助長スルノニ、之ヲ公債ニ置イテヤツカラ宜カラサト云フ御意見ハ、是ハツノ御考カモ知レマセヌケレドモ、果シテソレガ一般財政ノ上ニ於テ適當デアルカ否ヤト云フ事納ハ大ニ考ヘサセラレル點ガアラウト思フノデアリマス、ソレカラ都市デ取ルモノハ其ノ儘デヤツカラ宜イデヤナイカト云フ御話デアリマスケレドモ、是ハ富ノ偏在ヲ來シツツアル今日デアリマスノデ、其ノ點ニ於テ何カ調整ヲ加ヘナクテハナラヌデヤナカイト云フ考ツノ御考ト思ヒマスルガ、私共ハドチラガ良イカト申シマスレバ原案ノ方ガ遙カニ良イ、斯ウ主張セザルヲ得ナイノデアリマス○小山委員長 森田君ニ一寸御相談申上ゲマスガ、成ベク今日午前中ニ質問ヲ打切りタイト思フノデス、ソレデアト三人バカリアリマスガ何トカ御制約出來レバ願ヒタイト思ヒマスレタラ書休ラシテ……

○小山委員長 成ベク食事ヲセズニ一時半マデ繼續シタイト思ヒマスガ……

○濱野委員 アナタハソレデ宜イカモ知レマセヌガ……

○森田委員 ソレハ聞エマセヌ(笑聲)委員
ハ御承知ノ通り内務大臣ガ來レバ順序通り
質問スル、内務大臣ガ來ナイノデ進行ガ遅
レタノハ委員ガ惡イノデハアリマセヌ、政
府當局ガ惡イノデ、ソコハ委員ト政府ト責
任ヲハツキリサセナケレバイカヌ、吾々ハ
責任ハ受ケマセヌ、内務大臣ガ勉強シテ來
サヘスレバ――。

○小山委員長 森田サンニ御答致シマスガ、
一昨日ハ内務大臣ハ森田サンガ御歸りニナ
ツテカラ十一時マデ此處ニ御居デニナツタ
ノデアリマシテ、隨分アナタヲ御探しシタ
ノデスガ……。

○森田委員 私ハ私ノ質問時間ニ來テ待ツ
テ居ツタノダガ來ラレズニ、アトカラ來タ
ノデハ仕様ガナイ、今日午後繼續シテヤツ
テモ宜イト思フ、午後モ繼續シテヤツテ今
日中ニ打切ツタラ宜イ、ソレヲ今日午前中
ニ打切ラナケレバナラスト云フコトハ、誰
ノ指令カ知ラヌガ間違ツタ指令デアリマス、
委員ノ總體ノ意見デオヤリニナルコトヲ希
望シテ置キマス、此ノ税ノ問題ハ問ウテ居
レバ一日掛ツテモ二日掛ツテモ要領ヲ得ナ
イ、アナタノヤウニ惡イト思ツテモ出シタ
以上ハ、面目ニ囚ハレテ支那人ノヤウナ態度
テ置イタ方ガ良トイ云フヤウナコトデハイケ
ナイ、是ハ委員ノ判断デ決メナケレバナラ
カヌ、惡イト思ヘバ此ノ場合此ノ案ノ修正シ
ト思フガ、アナタノヤウニ出シタ以上ハ何

處マデモ突張ルト言ヘバゾレハ別問題デ、又別途ニ相談ヲシナケレバナラヌ、内務大臣ハ政治家デアツテ役人デモナイ、官僚デモナイノダカラ、ソヨハーツ打解ケテ進マレタ方ガ早ク行クト思ヒマス
今一點私ガ御尋申上ゲタイノハ、斯ウ云フ風ニ地方ノ稅源ヲ續々取上げテ、遊興稅モ家屋稅モスツカリ取上げタカラ、地方ニハモウ残ツテ居ルモノハ大シテナイ、殆ド稅金トシテ取レサウナモノハ取ル、但シ分與稅トシテ戻シテヤルト云フコトデアルガ、地方ノ者ハソレデハ有難ガラス、自分ノ出シタモノヲ自分ニ戻シテ貰フノニ、頭ヲ下ガテ禮ヲ言ツテ貰フト云フヤウナコトデナク、是ハ當リ前ニヤツテ戴キタイ、頭ヲ下ガラレル方ノアナタ方ハ宜イガ、頭ヲ下ゲル者ハ本當ニ氣持ガ宜クナイカラ、ソコヲ考ヘテ行カナケレバナラヌ、サウ云フ風ニヤツテ行クト稅源ガナクナルカラ、餘ハ住民稅ト云フモノニ依ルカ、強制寄附ニ依ルカノ二ツニ懸ツテ居ルノデアリマス、ソコニ此ノ住民稅ノ點ヲ一つ御尋申上ゲルガ、是ハ三ツニ分ケテ、大都市ハ八圓、都市ガ六圓、町村ガ四圓ト云フ風ニ、住民稅ノ平均負擔ヲ分ケテアル、其ノ平均ノ負擔ガ分ケテアリナガラ、最高限度ガ一本ニナツテ居ルノハドウ云フ譯デアルカ、ソレハヤハリ平均四圓ノ負擔ヲスル所ハ、ノデアリマスカラ、ヤハリ最高額モ三段階ニ刻ムベキデアラウト考ヘマス、小サナ負弱ナ町村ニ持ツテ行ツテ千圓ト云フモノヲケテ行クト皆逃ゲテ行キマス、今ノ戸數

割下コロデハナイ、ソレヨリモ餘計ニ課ケ
テレルコトニナル、所ガ東京市ノ如キ所デ
タツタ千圓デ宜シウゴザイマスカ、一番大
キイ所デ百万圓ダ二百萬圓ダト云フ大キナ
所得ノアル人ニ、最高千圓デ宜シイノデア
リマスカ、私ハ平均ヲ三段階ニ分ケタコト
ハ宜イト思フガ、同時ニ上モ三段階ニ願ヒ
タイ、私見トシテ言フナラバ平均四圓ノ所
ハ五百圓程度デ最高ハ宜イデハナイカ、同
時ニ平均六圓ノ所ハ千圓位ノ所ガ宜イデハ
ナイカ、平均八圓ノ所ハ少クモ二千圓三千
圓ト云フ所ヲ最高トシテ宜イノデハナイカ
カ、平均ノミ三段階ニ分ケテ、最高ノ負擔
ヲ一箇所ニ置イタ所ニ聊カ無理ガアルノデ
ハナイカト思ヒマスガ、内務大臣ハ常識判
斷デ無理ガアルト思ハレマスカ、思ハレマ
セヌカ、是ハ田舎ノ農村ヤ漁村、ソレカラ
大東京市ト云フ所ヲ考ヘテ立法セラレル必
要ガアル、今アナタハ立法ノ問題ヲ私ガ論
ズルト仰シヤツタガ、是ハ立法ノ問題デス
税制ヲ法律ニシヨウト云フ一番大事ナ所デ
アリマスカラ、此ノ點ハ修正が必要デアル
ト私ハ常に考ヘテ居ツタノデアリマスガ、
内務大臣ハドウ御考ヘニナリマスカ

○森田委員 サウ考ヘテヤハリ原案ヲ支持
ナサルコトガ宜クナインデス、是ハ一ツ冷
靜ニ御考置キヲ願ヒマス、事務當局ニモ是
ガ良イト言フノハドウカシテ居ル、良イ譯
ハナイ、ツイセウ云フ風ニ作り上ゲタガ、
後カラ考ヘルト洵ニサウダツタ云フコト
ニナル、内務大臣ハ、千圓ト決メテアツテモ
必ズシモ其ノ通りニハ取ラナイト言ハレル
ガ、是ハ必ズ取りマス、税源ガ足リナイカ
ラ取ラザルヲ得ナイ、ダカラ是ハ深甚ノ考
慮ヲ御願シテ置キマス

デアル、大藏當局ハ強制寄附ヲヤラシタモノハ、個人所得ノ損金トシテハ認メヌト
説明シテ居ルガ、斯ウ云フ風ニ今後稅源方
取立テラレテ行キ、中央カラノ委任事務モ
殖エテ來ルコトニナルト、隨テ已ムヲ得ズ
強制寄附ニ依ラナケレバナラヌコトガ多イ
カラ、其ノ強制寄附ヲ一種變ツタ戸數割
ノヤウナ支出ヲ個人ニヤラシタナラバ、ソ
レハ私ハ個人ノ所得カラ控除シテヤルヤ
ウニシテ置クコトガ合理的デアルト思ブ
法人デモサウシテアル、個人ノ寄附金モ
オ宮ヤオ寺ニシタモノハ別デスガ、學
校ノ講堂ヲ建テル、道路ヲ造ル、或ハ防空
施設ヲ行ツタ、消防「ポンプ」ヲ買ツタ、警察
ノ官舍ヲ建テルト云フヤウナモノニ、所謂
戸數割的ナ寄附ヲセラレタモノハ、其ノ人
ノ所得稅ノ決定ニ當ツテハ、當然損金トシ
テ控除シテヤル筋合ノモノデアルト信ジテ
居ル、此ノ問題ハ今度ノ討論ニナル時ニ相
當重要ナ問題トシテ論ゼラレルト思ヒマス
ガ、今後今ノヤウニシテ行ケバ、大藏當局
ト内務當局トノ交渉ノ際ニハ、地方費ノ負
擔ヲシテ行ク一種變ツタ戸數割的負擔デア
ル所ノ強制的寄附ニ對シテハ、ドウカ個人
ノ所得カラ控除ヲ認メルヤウニ、私ハ御盡
力ヲ願ヒタイト思ヒマス、之ニ對シテ内務
大臣ハドウ云フス御考ヲ御持チニナリマス
カ、若シ今後ハサウ云フ強制寄附ナドハサ
セナイ、同時ニ委任事務ノ施設ヲ命ズル時
ハ、豫算ハ全部吳レテヤルト云フナラバ、
是ハ別ニ問題ニハ致シマセヌ、ドチラデモ
スト云フ御無理ナコトハ、仰シヤツテ戴キ
タクナインデアリマス

○兒玉國務大臣 御說ノ通りニ強制寄附、地方起債、是ハ地方財政ノ爲ニ慎マナケレバナラヌコトハ申スマデモナイコトデアリマス、而シテ委任事務ノ問題デアルノデアリマスガ、是ハ國費ト地方費トノ分擔金ノ問題ニナルノデゴザイマスケレドモ、理窟カラ言ヘバ今御話ノ通りデアルト思ヒマス、今回モ其ノ點ニ付テハ深イ考慮ヲ廻ラシタノデアリマスガ、稍其ノ一部分ガ解決サレツツアルヤウナ狀況デアルノデアリマス、今後ソレヲ如何ニ解決スルカト云フノハ、理論上ニ於テハ簡単ニ申上ゲテ宜イノデアリマスケレドモ、併シ國ノ財政トノ關係ガアリマスノデ其ノ財政トノ調和ヲ圖リツツ、委任事務ノ性質ニ基キマシテ國ガ相當ノ負擔ヲシテ行クコトハ、内務當局トシテハ考ヘナクテハナラヌ點ト思ツテ居リマス。

○森田委員 今ノ強制寄附ヲ損金トシテ控除スル問題ハドウデスカ
○兒玉國務大臣 其ノ點ニ付テハ、主義トシテ強制寄附ハ慎シムベキモノナリト云フ考ヲ持ツテ居リマスカラ、今ノ御話ノ點ニイカト思ツテ居リマス
○森田委員 内務大臣ノ位地ニ居ラレ方ガ本當ニ其ノ氣デアルナラバ、寄附取締ヲナサルノハアナタノ所デスヨ、然ルニアナタノ方ニ縣廳ヤ警察ガ一番強制寄附ガ多イノデスヨ、サウ云フ強制寄附ハサセヌガ宜イト仰シヤルガ、今日マデノ經驗ニ依ルト、大抵ハ知事ガ一番ノ筆頭發起人デアル、警察ノ廳舍カラ、小サインハ派出所ヲ建テルトカ、或ハ消防ノ「ガソリン・ポンプ」ヲ買フトカ、防空施設ヲ行フトカ云フヤウナ有ユル強制寄附

ハ、内務省ニ屬スルモノガ多イノデスガ、而シテ委任事務ノ問題デアルノデアリマスガ、是ハ國費ト地方費トノ分擔金ノ問題ニナルノデゴザイマスケレドモ、理窟人ニ出シテ貰ハナケレバナラヌコトガアルト思フカラ、ソレヲ損金トシテ控除シテ、一種ノ戸數割トシテヤツテ行ク方ガ宜イト思フト云フ風ニ仰シヤラレル方ガ宜イノデナイカト思ヒマス、アナタガ此ノ席上デサウ仰シヤルナラバ、今後地方廳ニ向ツテサウ云フ方面ノ寄附ハ御差止ニナルコトガアツテ欲シイ、ソレダケノ勇氣ト決斷ガアツテコソ、本當ニ内務省ニ屬スル諸寄附ハ嚴重ニ禁ジテ行クコトガ出來、サウナレバ國民ハ大賛成デアリマス、今警察ナドニ依ツテハ「ガソリン」モ寄附サセテ居リマスヨ、サウ云フコトヲヤラサレテ居ル地方民ガ其ノ所得カラ控除ヲ受ケテ居ラヌカラ、アナタガ簡單ニ答辯デ片付ケラレテシマフコトハ此ノ席デハ宜イガ、地方廳ニ少クトモ内務省ノ監督下ニアル所ノモノダケハ、一切サウ云フ寄附ノ募集ヲシテハナラスト云フコトヲ責任ヲ以テ行ヘマスカ

○兒玉國務大臣 寄附ノ問題ニ付テ、只今強制寄附ノ問題ガアツタノデアリマスガ、是ハオ互ニ慎マナケレバナラヌ問題デアルト思ヒマス、如何ニ稅制ヲ改正致シマシテモ、之ニ代ルベキ強制寄附ヲヤツテ宜シイト思フガ、其ノ點ハ如何デアリマスカト明確ニシテ貰ヘバ控除シテ貰ハヌデモ宜イト思フガ、其ノ點ハ如何デアリマスカト明確ニシテ貰ヘバ控除シテ貰ハヌデモ宜イト思フガ、其ノ點ハ是以上申御諒解ヲ得ラレルコトト思ツテ居リマス、今言ツタ通り強制寄附モ、寄附ト課稅トヲ混同シテ考ヘラレルコトハ理論上ドウカト思フノデアリマス、其ノ點ハ是以上申上げナクテモ森田君能ク御諒解ノコトダト思ヒマス、私貴族院ノ方ニ用事ガアリマスモ、其ノ場合ニハ其ノ費用ノ性質ニ依ツテシ強制寄附ト言ツテモ、其ノ寄附ノ性質トノモ、ハ當然所得カラ控除スベキモノデアルト思フシ、サウ云フ方針ヲ立テタ方ガ地方モ國民モヤリ宜イト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、是ハ別ニ答辯ガナクテモ宜シイ、今大

臣ガアンナコトヲ言ツテ行ツタ後デ反對ノ
答辯ハジニクカラウカラ、ソレハヤラヌデ
モ宜イガ、此ノ問題ハ兩省デ能ク協議シテ、
内務省トシテヤリ好イヤウニヤツテ置キ
ナサイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、其
ノ他質問ハ幾ラデモアルガ、大體今度討論
デ問題ニナリサウナ所ダケ質問シタノデア
リマシテ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○小山委員長

田中好君

○田中委員 大臣ニ對スル質問ハ留保シテ
置キマシテ、先づ都市計畫稅ニ付テ御伺シ
タイト思フノデアリマス、從來ノ都市計畫
法ニ於キマシテハ、特別稅ヲ課ケテ都市計
畫事業ニ要スル費用ヲ支辨サセテ居ツタ、
尙ほ不足スル場合ニ於テハ、公共團體ハ主
務大臣ノ許可ヲ得テ一般ノ財源ヲ以テ都市
計畫事業ヲ執行シテモ宜シイ、斯ウ云フ風
ヲ削除セラレマシテ目的稅ヲ設定サレ、サ
ウシテ其ノ目的稅ニ依ツテ都市計畫事業ヲ
施行シヨウト云フ趣旨ニ變更ニナツタノデ
ゴザイマスガ、私此ノ場合ニ於テ一番妙ニ
考ヘマスルコトハ、從來ノ都市計畫法ニ於
キマシテハ、都市計畫事業ヲ執行スル行政廳
ノ直接ニ統轄スル公共團體ガ都市計畫稅ヲ
取ルコトガ出來得ルノデアリマスカ、其ノ
費用ヲ取ルコトガ出來得ルノデアリマスカ、
其ノ費用ヲ取ルコトガ出來得ルノデアリマス
東京市長ガヤル場合ニ於テハ東京市ガ特別
稅ヲ取ル、斯ウ云フヤウニナツテ居ル、所
ガ今度府縣稅トシテ之ヲ取ルト云フコトニ
ナリマスト、府縣知事ハ管内何處デモ都市計
畫事業ノ爲ニ稅金ヲ取レルト云フコトニ相
成リマシテ、神戸ノ都市計畫ニ要スル費用

ヲ但馬ノ方カラ取ツテ行ク、京都市ノ都市計
畫ニ要スル費用ヲ丹後方面カラ取ツテ行ク
ト云フヤウニ御改正ニナルモノト認ヌマス
ガ、果シテサウデゴザイマセウカ、其ノ點
ヲ御伺致シタインデアリマス
○挾間政府委員 只今御述ニナリマシタ點
ハ現行制度ト少シモ變リナインデアリマス
ソレカラ一般ノ財源ヲ都市計畫事業ニ使用
スルコトガ出來ルト云フノハ、現行制度ニ
於キマシテハ許可ヲ要シテ居リマスガ、其
ノ許可ノ必要ガナイト云フコトニ改マツタ
譯デアリマス

○田中委員 私ノ問ヒ方ガ惡カツタカモ知
レマセヌガ、サウ致シマスト東京ノ例デ言
ヒマセウカ、東京府知事ガ都市計畫事業ヲ
執行スル場合、都市計畫事業ハ都市計畫法
適用ノ區域ニ於テノミ事業ヲヤルコトハ、
是ハ申スマデモアリマセヌ、其ノ場合ニ郡
部ノ八王子ノ方ニ對シマシテモ其ノ費用ヲ
負擔ト同ジデス、東京市ノ都市計畫事業ノ
費用ヲ八王子カラ取ルト云フコトハ今マデ
ナカツタ、所ガ今度府縣稅デヤルト云フコ
トニナルトソレガ出來ル……

○挾間政府委員 ソレハ現行法ト全ク變り
ナイノデアリマシテ、現在都市計畫法デモ
サウ云フコトニナツテ居リマス、改正法ト
殆ド變リハナイ譯デアリマス
○田中委員 現行法ハ都市計畫事業ヲ執行
スル行政廳ノ統轄スル公共團體ガ取り得
ル、斯ウ云フノデス、サウデスカラ非常ニ
明瞭ナシニス、都市計畫事業ガナケレバ勿
論取ラナイ、而モソレハ東京市ノ都市計畫
事業ナラバ、其ノ費用ハ東京市ノ地租附加
稅カラ取ル、斯ウ云フヤウニナツテ居ル、
所ガ今度ノ府縣稅デ御取りニナル場合ハサ
ウデナイ……

○挾間政府委員 ソレハ現行法ト同ジデ東
京府全體カラ取ルコトニナリマシテ都市
計畫事業ノ財源ト稅ノ關係デスガ、從來ハ
ニ應ジテ支出ヲスルト云フヤウナ方法ヲ執
ルノガ適當デハナイカト思ヒマスガ、是等
ニ關シマシテハ何等カ御計畫ガアルノデゴ
ザイマセウカ

○挾間政府委員 今御尋ニナリマシタ都市

「公共團體ハ第四條又ハ第六條ノ費用ニ充
ト云フヤウニ御改正ニナルモノト認ヌマス
ガ、果シテサウデゴザイマセウカ、其ノ點
ウナツテ居リマス、隨テ東京府知事ガ事業
執行者トナツテ府ノ事業トシテ都市計畫事
業ヲ行ヒマス場合ニハ、現行法デモヤハリ
東京府全體ニ對シテ都市計畫特別稅ヲ賦課
スルト云フ建前ニナツテ居ルノデアリマス
今度ノ地方稅法ト別段其ノ點變ツテ居リマ
セヌ

○挾間政府委員 私ノ申上ゲタコトニ變リ
ハナイト思ヒマス、田中サンノ御話デスガ、
都市計畫法ノ第六條ト第八條トヲ併セテ讀
ガ出來マスネ、其ノ場合知事が東京市ノ都
市計畫事業ヲヤツタ負擔ハ八王子ノ郡部デ
モ取ルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニ解釋シ
テ宜シイデスカ

○挾間政府委員 現行法デハ其ノ通リデゴ
ザイマス

○田中委員 ソレハサウトシテ置キマス、

○挾間政府委員 現行法ニ於キマシテ都市計畫稅ヲ取ル、取

シテ足リナイ場合ハ他ノ費用デ賄フ、其ノ

趣意ハ此ノ度モ變リハナイト思ツテ居リマ
スガ、特別稅ヲ設定シテ特別事業ヲオヤリ

ニナル場合ニ於キマシテハ、私ハ財政學ハ

知リマセヌガ、特別會計ト云フモノヲ設ケ

テ、サウシテ其ノ稅源ヲ溜メル、或ハ事業

ニ應ジテ支出ヲスルト云フヤウナ方法ヲ執

ルノガ適當デハナイカト思ヒマスガ、是等

ニ關シマシテハ何等カ御計畫ガアルノデゴ

テ都市計畫事業ヲヤルト云フ場合ニハ主務

第六類第二號附屬 所得稅法改正法律案外三十件委員中地方稅法案外七件小委員會議錄 第七回 昭和十五年三月十一日 一五五

大臣ノ許可ヲ受ケルコトニナツテ居リマシタガ、今回此ノ許可事業ヲ整理シマシテ、一般ノ財源ヲ都市計畫事業ニ使用スル場合ニ於キマシテ監督官廳ノ許可ヲ要シナイト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ是ハ税ヲ使ツテシマツタ後、デナケレバ一般財源ヲ之ニ充テルコトガ出來ルカ出來ヌカ、是ハ別ニ税トノ關係ハゴザイマセヌカラ、自由ニ一般財源ヲ計畫事業ニ使用スルコトハ可能ナノデアリマス。

○田中委員 ソレデハ特別税トシテ御取りニナツタモノハ一般財源ニ入レテシマツテ、市ハ放ツタラカシテ置クト云フヤウナ御考デスカ、ソレトモソレハ取ツテシマツテ、是ハヤハリ目的税ダカラ、其ノ目的ノ事業ニ使ハナケレバナラヌ、サウ云フノナラバ、特別會計ト云フコトニナルノデハアリマセヌカ。

○挿間政府委員 ソレハ都市計畫税トシテ取ツタモノヲ一般ノ財源ニスルコトハ出來マセヌガ、一般ノ財源ヲ以テ都市計畫事業ノ方ニ使用スルト云フコトハ差支ナイト云フノデス。

○田中委員 先程ノ問題ニ付テモウ一遍一寸考ヘテ見タイノデスガ、神戸ノ都市計畫事業ヲ但馬ノ方ニ費用ヲ持ツテ行クコトハ宜イコトデゴザイマセウカ、若シ局長ノ御話見タイン致シマスレバ、私ハ是ハ少シトイデヤナカト思フ、京都市内デ知事がヤツタ都市計畫事業、橋ヲ架ケタリ道ヲ持ヘタリスル其ノ費用ヲ、丹後ノ山奥ノ方ニ持ツテ行クト云フヤウナコトハ非常ニ大キナ問題デ、中々國民ハ許サナイト思フ、ソレデナクテモ農村ノ財源ヲ都市ヘ持ツテ行クト云フ非難ガアル時ニ、斯ウ云フ立法

○挿間政府委員 今御話ニナリマシタ點ハ色々意見モゴザイマス、併シ府縣ガ一ツノ統一シタ團體トシテ色々仕事ヲスル場合ニハ、縣立ノ學校ヲ但馬ニ建テマシテモ、其ノ經費ハ縣全體カラ得ル所ノ歳入デ支辨シマスシ、又產業施設ニシマシテモ、地域的ニ見マスト普遍のト云フモノハ殆ド想像シニクイ事柄デアリマスカラ、ソコハ府縣ヲ單一ナル地方團體トシテ考ヘマスト、サウ云フ場合ガ常ニ起ルト思ヒマス、是ハ獨り都市計畫事業ダケデハナイト思ヒマス、唯併シナガラ都市計畫事業ト云フモノハ特ナイト思ヒマスガ、主トシテ都市計畫事業別税ヲ取ルコトニナツテ居ルノデ、今御話ニナリマシタヤウナ御意見モ出テ來ルデアラウト思ヒマスガ、主トシテ都市計畫事業ハ都市ニ於テ行フモノデアルト云フノデ、今回ノ目的税トシマシテハ都市計畫税ノ税率ヲ府縣カラ市町村ニ半額ヲ讓リマシテ現行法ハ出來テ居ルノデゴザイマスガ、是等ノ獨立税ヲ取ルコトハ非常ニ結構デアル、結構デアルガソレヲ認メルノハ唯市町村ノ独立税トシテ認メルノデアツテ、府縣ノ税金トシテ認メナイ、斯ウ云フヤウニナツテ

○田中委員 私ハ單一團體ト云フヤウナコトデ答辯セラレルト思ツテ居ツタ、ソレニトシテ斯ウ云フ課稅權ヲ與ヘテ居ルノデアリマスカラ、差支ナイト考ヘテ居リマス。○挿間政府委員 是ハ都市計畫事業ノ財源トシテ斯ウ云フ課稅權ヲ與ヘテ居ルノデアリマスカラ、差支ナイト考ヘテ居リマス。○挿間政府委員 是ハ都市計畫事業ノ財源トシテ斯ウ云フ課稅權ヲ與ヘテ居ルノデアリマスカラ、差支ナイト考ヘテ居リマス。○挿間政府委員 是モ意見ノ相違ニナルカモ分ト云フ根本ニ戻ツテ御研究下サルコトガ必要ダト思フ、私ハ斯ウ云フヤリ方ハ常識力ヲ見テ如何カト思ヒマスガ、御意見ヲ承りタイ

○挿間政府委員 今御話ニナリマシタ點ハ色々意見モゴザイマス、併シ府縣ガ一ツノ統一シタ團體トシテ色々仕事ヲスル場合ニハ、縣立ノ學校ヲ但馬ニ建テマシテモ、其ノ經費ハ縣全體カラ得ル所ノ歳入デ支辨シマスシ、又產業施設ニシマシテモ、地域的ニ見マスト普遍のト云フモノハ殆ド想像シニクイ事柄デアリマスカラ、ソコハ府縣ヲ單一ナル地方團體トシテ考ヘマスト、サウ云フ場合ガ常ニ起ルト思ヒマス、是ハ獨り都市計畫事業ダケデハナイト思ヒマス、唯併シナガラ都市計畫事業ト云フモノハ特ナイト思ヒマスガ、主トシテ都市計畫事業別税ヲ取ルコトニナツテ居ルノデ、今御話ニナリマシタヤウナ御意見モ出テ來ルデアラウト思ヒマスガ、主トシテ都市計畫事業ハ都市ニ於テ行フモノデアルト云フノデ、今回ノ目的税トシマシテハ都市計畫税ノ税率ヲ府縣カラ市町村ニ半額ヲ讓リマシテ現行法ハ出來テ居ルノデゴザイマスガ、是等ノ獨立税ヲ取ルコトハ非常ニ結構デアル、結構デアルガソレヲ認メルノハ唯市町村ノ独立税トシテ認メルノデアツテ、府縣ノ税金トシテ認メナイ、斯ウ云フヤウニナツテ

ニナル方ガ適當デハナカラウカト思フ、私芳
説明スルマデモナク六大都市ノ國道、府縣道
其ノ市ニ於テ運行スルモノハ六大都市ノ市長
ガ管理シテ居ル、サウシテ六大都市ニ籍ヲ
有シテ居ル所ノ自動車ト云フモノハ、大體
是ハ餘リ殘酷ナヤリ方デアラウト思ヒマス
ガ、六大都市ニ關シテ特別ナ御考慮ヲ加ヘ
ラレルヤウナコトガナイノデアルカドウカ、
現ニ地方局長ハ御承知デアラウト思ヒマス
ガ、東京市ノ自動車稅ヲ實際東京市ニヤツ
テ居ル、慾ノ深イ東京府ガ何故ニヤルカト
云フト、ドウシテモ是ハ理窟攻メニナルト
仕方ガナイ、ソレデ三百万圓デシタカ、年々
下付シテ居ルト思ヒマスガ、ソレ等ノコト
ハ全部蹴飛バシテ現在ノ制度デオヤリニナ
ルノカドウカ、其ノ點伺ヒタイ

テ居ル、ソレハヤハリ東京市長が道路管理
權ヲ持ツテ居ツテ、費用ヲ負擔シテ居ルカ
ラデ、自動車稅ヲ自分でケガ取ツテ、市ニ
ヤラヌト云フノハ不合理デアルカラヤツテ
居ル、サウ云フコトベ今後起ツテ來ナイ……
○挾間政府委員 稅其ノモノヲヤツテ居ル
ト云ブコトハナオト思ヒマスガ、或ハ或ル
程度ノ交付金トカ云フヤウナモノハアルド
思ヒマス、ソレデ今申上ゲマシタヤウニ稅
制トシテ六大城市ノミニ自動車稅ト云フモ
ノヲ考ヘルコトハ困難ト思ヒマスガ、實際
ノ扱トシテハ色々府縣ト市トノ間ニ於ケル
話合ト云フモノガ出來ルメデハナイカト思
ツテ居リマス……
○田中委員 私ハ稅ヲ市ニヤルト云フソン
ナ馬鹿大コトヲ聽イテ居ルメデハナイ、稅
ヲ取ツテ其ノ金ヲヤツテ居ルノデス、今私
ノ質問シタコトヲアシタハ御存ジナイサウ
デアリマスカラ、東京市ガヤツテ居ル實情
ヲ他ノ委員カラ話サレルサウデアリマスカ
ラ……
○小山委員長 ソレデハ長野君簡單ニ願ヒ
マス

府ガ東京市ニ自動車稅ノ中カラ百万圓ツ
交付シテ居ルト云フ事實ガアルノデカラ、
ソレハ能ク御承知置キヲ願ヒタイ、同時ニ
今御話ニ依リマスト、本稅ト附加稅ノ上ニ
於テ相當考慮シテモ宜シイト云フコトニア
リマスガ、六大城市ニ對シテバサウ云フ風
ナ條項ヲ御書キ加ヘニナル御意思ガアリマ
スカ、修正ニ應ジマスカ
○狹間政府委員 不均一課稅ト云フコトハ
一寸ドウカト思ヒマスガ、今マデヤツテ居
リマスヤリ方ニ付テ何モ今度ノ稅制ガソレ
ヲ禁止スルト云フヤウナコトハ言ツテ居ナ
イノデアリマス

○田中委員 此ノ點能ク御考査キヲ願ヒタ
イノデス、是ハ實際大キナ問題デス、是ハ
六大城市ニ於テハ同ジヤウナ問題ヲ起シテ
居ル、大阪ナドモ非常ニ喧嘩シテ居ルノ
デス

○次ハ電柱稅ニ付テ一ツ御尋シマス、是モ
餘リ大キナ稅目デハアリマセヌカラ、大キ
ナ聲デ喧シク言フ必要ハナイカモ分リマセ
スガ、現行制度ノ課率ハドウカト言ヒマス
ト、實ニ厄介ナ稅金デアリマス、之ヲ私ハ
内務省ガ御取上ニナツタ勇氣ニ對シテハ驚
イテ居ル、而モ電信柱ヲ建テルト云フコト
ハ、建テル關係カラ見テシマスト、寧ロ町
村稅ニスル方ガ私共ハ適當ト思ハレル、ソ
レヲ態、府縣稅ニオヤリニナツテ居ル、局長
ハ課率ガ酷デアルト仰シヤイマスガ、課率
ガ酷ダカラ府縣稅ニスルト云フ理窟ハナイ
ト思ヒマス、是ハドウ云フヤウナ譯デ府縣
稅ニサレタカ、唯舊來ノ事情ヲ踏襲サレタ
ト仰シヤルカモ知レマセヌガ、電柱稅其ノ
モノノ性質ト申シマスカ、狀態ト申シマス
カ、ソレカラ見レバ私ハ町村稅ニスル方ガ

至當ダト思フ、ソレカラ又府縣稅ニシテ町
村稅ニ致シマシテモ、此ノ電柱稅ヲ取ル上
ニ私ハ根本ニ於テ御考ヲ願ハナケレバナラ
スト思フコトハ、電柱ハ大體ニ於テ公共ノア
用ニ供セラレテ居ル事業ノ爲ニ建テラレ居
ルモノガ大部分デアルト思ハレルノデアリ
マス、而モ其ノ電柱ハ道路ニ立ツテ居ルト
云フ場合ニ於キマシテハ道路ノ占用料ヲ納
メテ、又其ノ上ニ電柱稅ヲ取ラレルト云フ
コトニナルト、其ノ重イ負擔ハ何處ニ行ク
カト申シマスルト、電燈會社ナラ電燈料ニ
影響スルシ、色々ナ事業ニ轉嫁セラレルヤ
ウニ思フ、成ベクスウ云フ公衆共同ノ事業
ニ使フヤウナ電柱ニ對シテハ免稅セラレル
方ガ適當デアルト思ヒマスガ、ソレモシテ
居ナイ、ソレカラ一番横著ナノハ遞信省デ
ス、是ハ國ノ事業デアリマスカラ勿論稅金
ハ取りマセヌ、私ハ稅金ヲ御取りナサイト
ハ言ヒマセヌガ、今度電柱稅ヲ府縣ニ許容
スルト云フ場合ニ於テ、遞信省ノ電柱ハ國
家ノ電柱ダカラ構ハナイ、放ツテ置クノダ
ト云フコトデ、遞信省トハ何等交渉ガナカ
ツタノデアルカドウカト云フコトヲ承リタ
イノデアリマス

ノハ何ト申シマシテモ遞信省デス、遞信省ニ供スルヤウナ電柱ニ對シテハ昔ト同ジヤ

ガ道路ヲ非常ニ使ツテ居ル、ソレ等ニ對シテハ放ツテ置イテ、私設會社ガ公共ノ事業

ウニ電柱稅ヲ認メテヤルノダト仰シヤルノナラ、遞信省ノ電柱ニ對シテモ何等カノ方策ヲ執ラレナケレバナラスト思フケレドモ、ソレニ對シテ何モシテ居ナイ、其ノ點ニ付テ承リタイノデス

○三好政府委員 之ニ付キマシテハ色々見方ニ依リマシテ意見ノアル問題デゴザイマスガ、第十二條ノ規定ニ於キマシテ、

地方團體ノ免稅ヲ強制スル規定ヲ設ケテ居リマス、即チ其ノ四號ノ「國有ノ土地、家屋又ハ物件」ト云フ問題ニ關係ガアルノデ

アリマシテ、國有ノ土地家屋又ハ物件ニ付キマシテハ、理論ノ如何ニ拘ラズ、稅金ヲ取ラスト云フ建前ノ一つノ適用トシテ、電

柱稅モ國ノモノニ付テハ稅金ヲ取ラセナイ、

斯ウ云フノデアリマス然ラバ國有ノ土地、家屋又ハ物件ニ付テ稅金ヲ取ラス方ガ宜イカ、或ハ此ノ案ノ通り取ラサナイ方ガ宜

イカト云フ問題ニナリマスト、是ハ議論ノアル所ト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付

キマシテハ大體現行法ノ建前ヲ維持シタル申上ゲルヨリ外ハナイノデアリマス

○小山委員長 田中君ニ御相談申上ゲマス

ガ、マダ質問ガアリマスカ

○田中委員 驚キタ

○小山委員長 ソレデハ此ノ程度ニ打切りマシテ、午後一時四十五分カラ開會致シマス

午後零時四十分休憩

午後一時五十四分開議

○小山委員長 是ヨリ開會致シマス——田中君

○田中委員 委員長ヨリノ御話モアリマス

カラ極メテ簡單ニ質問致シマス、水利地益稅ヲ御取リニナリマシテ、水利施設其ノ他

迎スル者デゴザイマスガ、是ト同ジヤウナ法律ガ各所ニアルノデゴザイマス、都市計畫法ニモアリマスシ、道路法ニモアリ、河川法ニモ、其ノ他ノ法律ニモ受益者負擔ノ規定ガアルト思ヒマス、是ガ今度ノ法律ニ依リマシテ、政府ト致シマシテモ受益者負擔ノ御取りニナル、ソレカラ道路法、都市計畫法、河川法等ニアルノハ所謂報償的ノ意味ニ於ケル課徵ダト思ヒマスガ、折角今度斯様ナ一般的ノ受益者負擔金制度ト云フモノヲ御採リニナリナガラ、ソレ等ノ法律ヲ全部之ニ吸收セラレナカツタソハ、ヤハリ今私ガ申シマスル性質上ノ問題カラシテ御分ケニナツタノデアルカドウカト云フ點ヲ一ツ御伺シタイノト、ソレカラ性質上異ナルカラ本法ニ吸收セラレナカツタト云フ御考デ参リマスナラバ、重複課徵ヲシテモ差支ナイト云フ見地ニ御立チヨナツテ居ラレルノカドウカ、其ノ點ヲ一つ明ニシテ置キタ伊ヒマス

○三好政府委員 只今田中サンノ御尋デゴ

ザイマスガ、今回水利地益稅等ヲ設ケマシタノハ、報償的原則ニ立ツ負擔ヲ稅トシテ

取ル途ヲハツキリト開イタノデアリマシテ、是ハ道路法或ハ都市計畫法等ニゴザイマス

受益者負擔金ノ制度ト、今度新シク設ケル

徴モ時ニヤラレル場合ガアリ得ル、今ノ御答辯ニ依リマスト、勅令ニ依ツテ重複課徵ヲ止メルノダト云フコトデアリマスガ、ド

ハ茲行シテ行ク筈ノモノデゴザイマス、實情ニ依リマシテ何レカ工合ノ好イ方ノモノヲ選ンデヤル、斯ウ云フヤウニ相成ルノデ

ケルヤウニ定メル積リデアリマス

○田中委員 サウスルト性質上ハ同ジコトダト云フ御見解デスカ、ヤハリ性質上モ違

ツテ居ルガ、重複ダケヲ止メサセルト云フ御見解デスカ

○三好政府委員 政府ハ分擔金ト稅ト其ノ關係ニ於キマシテハ自ラ異ル、併シナガラ實體ハ相似タモノデアル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、例ハバ林道ヲ附ケル其ノ費用ヲドチラノ方法デ取ルカト申シマスト、

水利地益稅トシテ取ルコトモ可能デゴザイマス、併シナガラ其ノ場合ニ於キマシテ山林ノ毛上ノ所有者ニ受益關係ガアル、之ニ負擔ヲ課ケタイト云フ時ニハ水利地益稅ハ課ケ得ナイノデアリマシテ、隨テ分擔金制度ニ方ニ持ツテ來ル、斯ウ云フコトガ起ル場合ガアル譯デアリマス、モノニ依リマシテ全然ダブリマスモノト、多少ズツテ異ツテ居ルモノガアリマスガ、其ノ實體ハ、何レニシマシテモ受益の關係ヲ前提トシテノ負擔デアルト云フ點ニ於キマシテハ同ジモノデアルト考ヘテ居リマス

○田中委員 學說ハドウナルカ知レマセヌガ、吾々ノ方カラ見マストダブツテ取ラレルノハ非常ニ困ル、併シナガラ地方等ニ依リマスト、京都ノ下水道ノ使用料見タインモノデ、法律ニ許シテ居リマスト、重複課

ノデアルト考ヘテ居リマス

○三好政府委員 御尤モデアルト思フノデゴザイマシテ、水利地益稅ニ付キマシテハ、

土地ダケヲ對象ニ考ヘテ居リマス、之ニ依リマシテ利益スル土地ノミニ付テ考ヘルノ

合ト雖モ尙且ツ土地所有者ヲ對象トセラルト云フノハ、又特段ニ變ツタ御考ガアル

ノデセウカ

○三好政府委員 御尤モデアルト思フノデゴザイマシテ、水利地益稅ニ付キマシテハ、

土地ダケヲ對象ニ考ヘテ居リマス、之ニ依リマシテ利益スル土地ノミニ付テ考ヘルノ

デアリマスガ、然ラザル場合ニ於テ土地以

外ノ受益者ヲ生ズルコトガアリ得ルノデ、之ニ對シマシテハ分擔金制度ヲ活用シテ負擔

ヲナサシメル、其ノ爲ニ茲行ラシテ此ノ水利受益者ノ方ニ分擔金制度ヲ開イテ居ル譯

デアリマス、尙ホ共同施設ニ付キマシテハ、勿論土地ノ受益ト云フコトト稍、離レタ問題デアリマスノデ、是ハ共同施設税トシテ土地等ヲ標準ニ致シマセヌデ、別個ノ税ヲ課スル途ヲ開イテ居ル次第デゴザイマス

○田中委員 水利地益ノ場合デモ、ヤハリ土地所有者以外ノ受益ヲ能ク見受ケルノデアリマス、例ヘバ灌漑用水路ノ開設ニ依テ、水車業者ガ利益ヲ受ケルト云フヤウナ場合が多い、殊ニ田舎ニ行キマストサウ云フ

モノガ多イ、此ノ場合ニ水車業者ハ何モ負擔セズシテ、灌漑用水路ノ沿道ニ土地ヲ持

合ガ多イ、其ノ税種ノ選擇等

ハ非常ニ困難デアリ又不明確デアルト思フノデアリマス、隨テ斯様ナ場合ニハ數人又

ハ團體ノ一部ヲ利スル、斯ウ云フ關係ニ於

テ分擔金制度ヲ十分活用スル方ガ、實際ノ受益關係ニ該當スルト考ヘテ居リマスノデ、

斯ウ云フヤウニ兩建ニ致シタノデアリマス

○田中委員 ソレハ其ノ位ノ程度デ止メテ

如何デスカ

○挿間政府委員 只今ノ御尋ハ、地方税トシマシテハ、水利ノ地益ニ對シテ多ク課税ノ客體トシマスカラ、斯ウ云フ風ニナツテ居リマスガ、一面ニ於テ市制、町村制、府縣制等ニ新シク分擔金ノ制度ヲ擴張致シテ居リマス、之ヲ十分活用スル積リデアリマス、ソコデ例ヘバ町村制デ申シマスト、第二百二

条ニ規定シテ居リマシテ、勅令ノ定メ方ニ依ツテ重複課稅的ニナルコトハ避ケ得ラレ、今御述ニナリマシタヤウナ受益マスノデ、私ハソレガ變ダト思フノデス、ココデ水利地益税ヲ御取りニナツテ、用スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、私ハソレガ變ダト思フノデスラバ、分擔金ノ制度ヲ別ニ御採リニナル

○挿間政府委員 是ハ最モ代表的ナモノト考ヘラレルノデアリマスガ、然ラバ其ノ他ノ税ニ付テ地租割類似ノモノヲ認メルカト云フコトニナリマスト、其ノ税種ノ選擇等ハ非常ニ困難デアリ又不明確デアルト思フノデアリマス、隨テ斯様ナ場合ニハ數人又ハ團體ノ一部ヲ利スル、斯ウ云フ關係ニ於

テ分擔金制度ヲ十分活用スル方ガ、實際ノ受益關係ニ該當スルト考ヘテ居リマスノデ、

斯ウ云フヤウニ兩建ニ致シタノデアリマス

○挿間政府委員 ソレハ其ノ位ノ程度デ止メテス、唯今回ノ配付税ノ財源トシテハ、所得税、法人税等ノ有力ナル税種ヲ選擇スルノガ適當デアルト思ヒマシテ、斯様ナ提案ヲ致シタノデアリマス、併シ「ガソリン」税、又自動車税等モ其ノ利用ノ範圍ガ一團體内ニ限ラナイデ廣ク瓦ツテ居リマス、先日モ寧ロ是等ハ市町村税ト云フヨリハ府縣税、場合ニ依ツテハ配付税的ノ性質ヲ持ツモノデアルヤウニ思フト云フコトヲ申上げマシタガ、是ハ今回ノ配付税トハ多少意味ヲ異ニシテ、目的稅的ノ性質ヲ持ツテ居リマス、配付税デモ作ル時ニハ最モ恰好ナ稅種デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、御述ニナリマシタ點ニ付キマシテハ、「ガソリ

ン」税、自動車税併セマシテ、左程ナ特殊ノ配付税等ヲ考慮スル場合ニハ十分考ヘテ見

タイト考ヘテ居リマス

○田中委員 私ノ質問ハ是デ止メテ置キマ

必要ハ少シモナイ、此處ニ御書キニナレバソレデ宜イノデハナイカト云フヤウナ感じヲ起スノデアリマスガ、ドウシテモ町村制ト府縣制ノ分擔金ヲ茲ニ持ツテ來ナケレバ惡イト云フ理窟ハ格別ナイト思フノデスガ、其ノ點ヲ承リタイ

○挿間政府委員 是ハ最モ代表的ナモノト考ヘラレルノデアリマスガ、然ラバ其ノ他ノ税ニ付テ地租割類似ノモノヲ認メルカト云フコトニナリマスト、其ノ税種ノ選擇等ハ非常ニ困難デアリ又不明確デアルト思フノデアリマス、隨テ斯様ナ場合ニハ數人又ハ團體ノ一部ヲ利スル、斯ウ云フ關係ニ於

テ分擔金制度ヲ十分活用スル方ガ、實際ノ受益關係ニ該當スルト考ヘテ居リマスノデ、

斯ウ云フヤウニ兩建ニ致シタノデアリマス

○挿間政府委員 ソレハ其ノ位ノ程度デ止メテスコトハ、機構ノ改正ヲ後廻シニセラレテ、税制ノミヲ先ニ御出シニナツタ、或ハ國稅ノ改正ニ伴フ已ムヲ得ナイ改正デアルト云フノデ仕方ガナイカトモ一應考ヘテ居ル、所ガ此ノ間大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、サウ云フ點モ考ヘテ、サウシテ今度ハ

デアルト言ハレルケレドモ、郡長制度ノ復活ノ所マデ仰シヤラレマスト、ヤハリ兩様相並ンデ御考ニナツタカノ如クニモ考ヘラレドモ、ヤハリ府縣ナリ、團體ノ代表者ハシマシテモ此ノ府縣知事ノ仕事ヲ道具ニ、

市町村自治ノ仕事ヲ抑ヘルヤウナ感じガア

ニ出来ルト云フコトニナリマスレバ理想的
ダト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ今回ノ
場合ニ於テハ、毎々申上ゲマス通リニ地方
爲ニ有力ナル財源ヲ地方ニ與ヘルコトガ焦
眉ノ急ナリト考ヘマシテ、而モソレガ國稅
ト地方稅トヲ一貫シテ改正スル機會ニ達シ
テ居リマシタカラ此ノ法案ヲ出シタノデア
リマス、併シ實際上ノ問題カラ致シマスト、
必ズシモ一緒ニ致サナクテモ、稅制施行ノ上
ニサウヒドイ支障ヲ生ズルコトハナイト想
像シテ居ルノデアリマス

次ニ郡役所ノ問題デアリマスガ、是モ前
ニ申上ゲタノデアリマスルガ、中間機關ガ
アツカ方ガ宜シイト云フ議論ガ可ナリ有力
デアリマスルノデ、之ヲ如何ナル形ニシタ
ラ宜イカト云フコトモアリマスシ、又之ヲ
行フガ良イカ惡イカト云フ事柄モアルデア
リマスガ、今之ヲ置カウト云フ風ニ私ガ申
上ゲタノニアラズシテ、斯ノ如キ有力ナル
機關ガアルカラ此ノ事ニ付テモ考ヘテ見ル
必要ガアル、斯ウ云フ風ニ申上ゲタノデア
リマス、郡役所ノ問題竝ニ中間機關ノ問題
ニ付キマシテ、ソレ以上ニ何カ機關ヲ設ケ
タラドウカト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ
考慮ヲ加ヘテ見タイト思フノデアリマス、
只今私ハ其ノ點マデ必要アリトハ感ジテ居
リマセヌケレドモ、此ノ點モ併セテ考慮致
スコトニ致シマス

ソレカラ道府縣ガ市町村ヲ壓迫シテ行ク
ト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ壓迫シテ行
クト云フヨリハ寧ロ、同ジヤウナ事ヲ兩方デ
考慮ヲ加ヘテ見タイト思フノデアリマス、
ナツテ居ルト云フコトガアルト思フノデア

リマシテハ兩方デヤル必要ガナイモノガ多
シマシテハ道府縣デヤル仕事ヲ、市町村ノ
ヤル仕事、大體ニ於テ區分ヲ付ケマシテ、
兩方デ同ジヤウナ仕事ヲヤルコトハ將來避
ケテ行キタイト考ヘテ居リマス

○小山委員長 濱野君

○濱野委員 私ハ内務大臣ニ對シ、三部制
度ニ付テノ御質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、
先程森田代議士カラ此ノ點ニ付キマシテ、
愛知縣竝ニ兵庫縣ノ人達ガ非常ニ心配シテ、
眞劍ニ陳情シテ自分達ノ希望ノ實現ノ爲ニ
努力シテ居ル有様ヲ詳細ニ述ベテ下スツタ
ノデアリマスガ、森田代議士モ嘗テハ廣島
縣ノ三部制廢止ノ時ノ實情ヲ能ク承知サレ
テ居リマスノデ、自然愛知縣竝ニ兵庫縣ノ
眞摯ナル意思ヲ能ク認識下スツタコトデア
ラウト思ヒマス、又政府ノ事務當局ノ方々
モ相當御配慮下スツテ居ルヤウニ御見受ケ
スルノデアリマスガ、立場ヲ異ニシテ居リマ
スノデドウモ解決ガ著キマセヌ、率直ニ申シ
マスルト、日本ニ於キマシテハ唯兵庫縣ト
愛知縣ノミニ實施セラレテ居ル三部制デア
リマス、此ノ實情ニ付キマシテハ數日來ノ質
問ニ依ツテ大臣モ既ニ御認識ノコトデアラウ
ト存ジマスルノデ、私ハ御意見ヲ確メタイ
ト思フノデアリマス、先づ私達ノ合點ノ行
カナイノハ、從來三部制ノ行ハレテ居リマシ
タ府縣ノ三部制ヲ廢スルニ當リマシテハ、
相當ノ準備期間ヲ與ヘテ居リマス、サウシ
テ其ノ主タル問題ト云フモノハ、從來市部會
ト郡部會ト連帶會議ニ依ツテ出來テ居リマ
ス三部制ガ一朝ニシテ廢止セラレテ、一ツ
ノ縣會が形作ラレマスル時ニハ、其ノ内ニ

モノノ獨自ノ存在ガ縣會ニ於テ現ハレナク
ナル、今マデハ市部會ニ於テハ市部選出ノ
縣會議員ノミニ依ツテ審議又ハ決定セラレ
ル、郡部ノ事ニ付キマシテハ郡部選出ノ人達
ニ依テ出来マスル郡部會ガアツテ、獨自ノ立
場カラソレハ審議決定セラレ、サウシテ
經濟上ノ負擔ニ任ジテ居ツタ、此ノ兩者ノ
何レニモ屬セザルモノニ付キマシテハ連
帶會議ガアリマシテ、合同シテ一ツノ機關ヲ
作ツテ居リマス、斯ノ如クニシマシテ都市
農村ト云フモノガ獨自ノ存在ヲ保ツテ、
而モ協調主義ノ下ニ完全ニ行ハレテ來タモ
ノデアリマス、所ガ合併サレマスト先ヅ
案ゼラレマスノハ、何處デモサウデアリマ
スガ、東京、大阪ノヤウナ大都市ハシレ自
體ニ多數ノ府縣會議員ヲ持ツテ居リマスカ
ラ別デアリマスガ、サウデナイ所ニ於キマ
シテハ、此ノ獨自ノ存在ヲ保ツテ居リマシ
タ市部會ト云フモノガナクナル爲ニ、特殊ノ
施設ト云フモノガ都市ニ必要デアリマス、
サウ云ツタモノニ付テ考慮セラレル機會ガ
少クナツテシマフ、一例ヲ舉ゲテ見マスト、
兵庫縣ニ於キマシテハ市部選出ノ縣會議員
ガ二十名、郡部選出ノ縣會議員ガ四十四名、
是等ノ人達ガ一ツノ縣會ヲ形作ル時ニ於キ
マシテハ、神戸市ハ東洋ナラ東洋ニ於ケル
唯一最大ノ貿易港ノミナラズ且ツ重工業ノ
中心デアル、名古屋ハ言フマデモナク中京
レテシマフト、都市獨自ノ存在ヲ保ツテ國家
ノ爲ニ都市トシテノ使命ヲ果シタイト云フ
ス、斯ウ言ツタモノガ一ツノ縣會ニ纏メラ
ト謂フ名ニ依ツテ示サレテ居リマスヤウニ、
特殊ノ使命ヲ帶ビテ居ル大都市デアリマ
ス、斯ウ言ツタモノガ一ツノ縣會ニ纏メラ

ヒ、數ニ依ツテ決セラレルト云フコトナツテシマノ發言權方縣會ニ於テ殆ドナクナツテシマゼラレマスノト、モウ一ツハ、從來市部ノ負債ト郡ノ方ノ負債ト云フモノガ自然大幅ノ開キヲ持ツテ居リマスガ、是ガ合併ニナリマスト、市部ノ人達ガ思ヒ掛ケナイ郡部ノ負債ヲ背負フコトニナルノデアリマス、先ヅ此ノ二ツガ大キナモノデアリマスガ、他ニモ澤山アル、斯ウ云フヤウナ事實ヲ内務省ノ當局ハ能ク御承知デアリナガラ、何故今回ニ限ツテ準備期間ヲ與ヘルコトナク、此ノ大劃期的ナ稅制ノ法律ノ實施ヲバ機會トシテ、殆ド壓制的ナヤウナ態度デ實施セラレヨウトスルノデスカ、改メテ伺ヒタイ第一ハ、此ノ二縣ノ三部制ノ廢止ト云フコトト、稅制ノ改革ト云フコトガ、ドウ云フ關係ニ置カレテ居ルト御考デアリマスカ、此ノ點ヲ先ヅ伺ヒタイ

○兒玉國務大臣　只今最初ニ御述ニナリマシタ縣會議員ノ數ガ違フカラ、市ガ自ラ不利益ナ立場ニ立チハセヌデアラウカト云フ御心配デアリマス、此ノ關係ハ他ノ府縣ニ於テモ同様ナ關係デアリマスルノデ、兵庫縣ナラ兵庫縣ノ將來ニ於キマシテ互ニ協調ヲシテ、縣全體ノ進歩發達ヲ圖ツテ行クト云フコトニナラナケレバナリマセヌノニ、一時ニシテ、縣全體ノ進歩發達ヲ圖ツテ行クト云ニナルカト思ヒマス、ケレドモ、是ハ他ノ府此ノ廢止ノ當座ヲ見マスト、今マデトハ急ニ變リマスルカラ、サウ云フ感じモ御起りイダラウカト思ヒマス、ソレカラ負擔ノ處理ノ問題、此ノ問題ハ一番難カシイ問題デアルト思フノデアリマスルガ、是ハ知事ヲ中心ト致シマシテ、或ハ兩者ノ間

ニ同數ノ委員デモ出シ合ヒマシテ、サウシテオ互ニ協調ヲシテ話合ヲ付ケテ行
クト云フコトニ致シマスレバ、此ノ問題更ノ時分ニハ往々アリ得ル問題デアルノデ
アリマスガ、是ハオ互ニ話合ヲ致シ、其ノ間ニ公平ナ立場ニ於テ知事ガ之ヲ處理シテ
參リマスレバ、是モ亦御心配ノヤウナコト
ハナイノデハナイデアラウカ、斯ウ云フ風
ニ考へテ居リマス
而シテ今回四月一日カラ新稅法ガ施行セ
ラレマシテ、ソコデ此ノ三部制ノ問題ノ話
合ヲ始メルヤウナコトニ相成ルノデアリマ
スルケレドモ、是ハ即日カラ其ノ問題ガキツ
チリ決ラナクトモ、此ノ配付稅ノ問題ハ七
八月頃マデニ大體ノ事ガ決ラウト思ヒマス
カラ、其ノ勅令其ノ他ノ準備ガ出来マスル
前ニ御話合ヲ願ヘバ、ソレニ間ニ合フヤウニ
此ノ問題ノ處理ガ出来ルト思フノデアリマ
ス、今回稅制ト此ノ問題トヲ絡ミ合セタ所
以ノモノハ、主トシテ今回ノ稅制ノ如キ劃期
的ナ地方稅ノ制度ヲ布イテ、サウシテ財的
ニ地方ノ制度ヲ確立シヨウト云フ際ニアリ
マスルカラ、從來段々ト廢セラレテ居リマ
シタ三部制ヲ此ノ機會ニ於テ廢止スルコト
ガ、地方ノ制度ノ統制ノ上カラモ必要デア
リマスシ、且又此ノ配付稅ノ配付ノ方法ニ
付キマシテ、三部制ノ存立ガ非常ナル障碍
ヲ來シマスルノデ、隨ヒマシテ今回ノ稅制
ニ伴ヒマシテ三部制度ヲ廢止致シマシテ、
全國統一シタル完全ナ制度ニ建直シタイ、
斯ウ云フコトニ考へテ居ルノデアリマス、
唯此處デ重ネテ申上ゲマスルノハ、何レニ
シテモ急激ナル變化デアリマスルカラ、其

ノ間ノ調和ハ十分取ラナケレバナリマセヌシ、又市部ノ選出ノ御方々ノ御意見モ十分承リマシテ、此ノ間ヲ圓満ニ解決スルコトハ、獨リ私ノ責任デアルノミナラズ、其ノ衝ニ當リマスル知事ノ重大ナル責任ニ屬スルコトデアリマスルノデ、隨ヒマシテ十分御意見モ承リ、且又其ノ間ニ付テノ御話合モ十分ニ致シマシテ、サウシテ此ノ三部制ノ廢止ガ圓満ニ行ハレテ、全國畫一的ノ統制ガ出來ルト云フ事柄ヲ實ハ期待シテ居ルヤウナ譯デアルノデアリマス

○濱野委員 色々承リマシタガ、先づ端的ニ伺ヒタインハ、先程モ御言葉ガアリマシタガ、今回ノ税制改革ニ對シテ三部制ガ非常ナル障碍ガアルト云フ御言葉ガアリマシタ、サウスルト是ハ斯ウ云フヤウニ伺ツテ宜シイノデスカ、税制ヲ施行スルニ付テ非常ニ障碍ニナルカラ先ヅ三部制ヲ撤廃スルノダ、斯ウ云フヤウニ承ツテ宜シイノデス力

○兒玉國務大臣 第二ニ原則的ノ問題ト致シマシテ、地方制度ノ大體ヲ通ジマシテ、三部制ノ現存ト云フモノハ望マシクナイゴトデアリマスルノデ、何レノ時カニ之ヲ廢止シナケレバナラズ問題デアルノデアリマス、是ハ過去ノ事實ニ照ラシマシテモ御諒解ガ出来ルコトト思ヒマス、隨ヒマシテ其ノ機會ガ何時カト申シマスレバ、今回ノ税制ヲ施行スル際ニ於テ之ヲ廢止スルト云フコトガ一番好イ時機デアル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○濱野委員 結局ハ大體望マシクナイト云フ御言葉ガアツタ、私ハ言葉尻ヲドウスウ言フノデハナイガ、政府當局ノ趣意ガドウノ

ヤラ税制改革ト云フ劃期的ナ大法律ノ實施
ノ下ニ、チツボケナ問題デアルカノヤウニ
三部制ヲ見テ、其ノ下ニ葬リ去ラウト云フ
ヤウナ御心持ラシク伺フコトハ、頗ル遺憾
ナコトデアリマス、斷ジテ私ハ御言葉尻ヲ言
フノデハアリマセヌガ、趣意ハサウラシイ、
ソレハ既ニ政治ノ問題ニ移ツテ居リマス、劃
期的ノ税制改革ノ必要デアルト云フコトハ、
及バズナガラ私達モ認メテ居リマスガ、ソ
レ故ニ何等ノ準備期間モナクシテ、三府四
十三縣ノ中ニ二縣位ハドウデモ宜イト云ツ
タヤウニ、御言葉ガ伺ハレルヤウニ思ハレ
ル、此ノ點ヲ先づハツキリ伺ヒタイ
○兒玉國務大臣 御立場カラノ御言葉ト致
シマシテハ、一應御尤モニ思フノデアリマ
スケレドモ、大體ニ於テ三部制ハ廢止スベ
キモノナリ、是ガ原則デアルノデアリマス、
サウシテ何レノ時ニ之ヲ廢止スベキヤト云
フノガ第二ノ問題ニナルノデアリマス、ソ
レハ今回ノ税制施行ニ際シテ之ヲ廢スルコ
トガ、原則カラ見デモ、又税制施行ノ上カ
ラ見テモ適切ナリト、斯ウ考ヘテ居ルノデ
アリマス
○濱野委員 是カラハ意見ニナリマスカラ
差控ヘタイト存ジマスガ、大臣ハ選舉法ナ
ドニ對シテモ十分御理解ヲ御持チノ點カラ
考ヘマシテモ、斯ウ云ツタヤウナ政治的ノ
ニモ思ハナイ所ノ三部制ノ廢止ト云フコト
ノ存スル所ヲ能ク御考慮下サルヤウニ存ジ
テ居ル、然ルニモ拘ラズ、此ノ兩縣民ガ夢
取扱ヲスルコトニ付キマシテハ、先づ民情
コトガ、ドウ見テモ政府ノ意圖デアルヤウ
ニ思ハレマス、若シサウデナイトスレバ、
此ノ増稅案ト云フモノハ、是ハ馬場財政以

來ノ懸案デアルト言ハレテ居リマス、然ラバ
内務ノ當局ガ、之ヲ實施スルト同時ニ三部
制ヲ撤廢スルコトニナルト云フ必然ノ運命
デアルト解釋スルナラバ、ソレニ對シテナ
ゼ親切ニ豫メ準備スベキ所ノ事ヲシテ下サ
テナカツタカ、大臣ハ迭リ當局ハ迭リマシ
テモ、内務省ト云フ傳統ノ一つノ仕事ニハ
間違ヒハナイ筈デアリマス、今回俄ニ之ヲ
御出シニナツテ、ドウ云フ準備ヲ今マデ致
サレタカ、ソレヲ伺ヒタイ

○兒玉國務大臣 是ハ名古屋ニ於キマシテ
モ、神戸ニ於キマシテモ、此ノ三部制ナルモ
ノハ何レカノ時ニ廢セラレルモノナリト云フ
御考ハアツタノデヤナイダラウカト思フノ
デアリマス、ソレハ只今申上ゲマシタ原則
論カラ申シマシテモ、過去ニ事實カラ申シ
マシテモ、是ハサウ御考ニナリ得ルコトダ
ラウト想像シテ居ルノデアリマス、隨ヒマ
シテ今回之ヲ廢止スル場合ニ於キマシテハ、
事務當局ト致シマシテハ相當ニ理解ヲ得ツ
ツ、準備ヲシツツ今日マデ參ツタノデアリ
シテ行カナケレバナラスト云フ事柄ハ、是
マス、ソコデ今申上ゲマシタ通りニ、斯ウ
ハ申スマデモナイコトデアリマスルノデ、
其ノ點ニ於キマシテハ、過去ニ於キマシテ
モ、又今後ノ處置方ニ付キマシテモ、十分ナ
ル御相談ヲ申上ゲタイト、斯ウ云フ考ヲ持
ハ致シタクナイト考ヘテ居ルノデアリマス
○濱野委員 大臣ノ御言葉ガアリマシタガ
現大臣ハ相當理解ガアルカノヤウニ伺ハレ
ルノデアリマス、併シ廢止スベキ機運ハ二
縣ノ人達モ能ク分ツテ居ツタ筈デアルカノ
ヤウナ御言葉デアリマシタ、ソレナラゾレ

デ——言葉バカリデハアリマセヌカ、内務
ノ當局ハ、此ノ稅制ト云フモノハ一朝ニシテ
出來タモノデハナクシテ馬場財政以來ノ原
案ヲ纏メタモノデアル、今日此ノ問題ガ伏
在スルト云フコトヲ御承知デアリナガラ、
聊カモ積極的ニ働き掛ケルコトガナカツタ、
勿論當局ノ方ハ、局長サンモ大臣諸公モ迭
ツテ居ラレマスガ、私ハ地方自治ノ上ニ内
務省——大臣モ地方長官モ一貫シタ指導精
神デ行クベキ筈デアルト思フノデアルガ、
サウ云フ考ヘ方カラ見ルト、今マデ積極的
ノ指導モナケレバ、何レハ稅制改革ノ時ニ
一舉ニシテ之ヲヤルノダト云フヤウナ口吻
スラモ漏ラサレテ居ラナカツタ、ソコデ問
題ガ起ツテ來タ、私ガ最モ厭ダト思フノハ、
此ノ兩縣ノ縣民ニ取ツテ非常ニ關係ノア
ル重大ナル問題ヲ、劃期的ノ稅制改革ダ、
其ノ前ニハ小ナルモノヲ押潰セト言ハンバ
カリノ態度ノヤウニモ思ハレル、今ノ御言
葉ヲ聽キマシテモ、兩縣ニ於キマシテハ此
ノ三部制撤廢ガ機運デアルト云フ言葉ガア
リマセヌ、何等ノ準備期ヲ置クコトナクシ
テ、直チニ稅制改革ト同時ニ施行セラルベ
キ機運方至ツテ居ルト云フ御説明ガ付キマ
スカ、此ノ御説明ガ付キマスナラバ承リマ
セウ

○兒玉國務大臣 私ハ各方面ノ意見モ段々
ニ承ツテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ機
会ニ於テ三部制ヲ廢止スベシト云フ御議論
モ承リ、茲ニ廢スノハ差支ナイガ暫ク準備
期間ト申シマスカ、施行期間ヲ延バシテ貰
ルカ知リマセヌガ、少クトモ我ガ日本ノ文
化ノ第一位ニ立ツテ居ル六大都市ノ市會ノ
實行委員、六大都市ノ人口ハドノ位デアル
カ知リマセヌガ、兎ニ角日本ノ文化デハ第
一位ニ立ツテ居ルモノデアルト思フ、其ノ
六大城市ノ市民ヲ代表シタ市會ノ内ノ又モ
スルガ、今回ニ於キマシテ原案ヲ尊重スル
ト云フコトニ付キマシテハ、其ノ御意見ニ
依ツテ直チニソレヲ採用スルコトガ出来ナ
イコトヲ遺憾トスルモノデアリマス
○濱野委員 大臣ノ御意思デハ、少クモ此
ノ特例ヲ存續スルト云フコトニ付テハ御贊
成デナイヤウデアリマス、併シナガラアナ
タノ御耳ニ入ツタノハ、三部制ヲ撤廢セヨ
ト云フ議論ト、撤廢ニ賛成デアルケレドモ、

タカラト云ツテ、無理解ニ之ヲ施行シヨウ
ノ御耳ニ入ツテ居ラヌト云フナラバ、改メ
ト云フヤウナ考ヲ持ツテ居ラヌト云フコト
ハ、特ニ御承知置キヲ願ツテ置キタイト思
フノデアリマス
○濱野委員 残り二件、御議論を以テ政府ニ
請議ヲ以テ政府ニ迫ツテ居ル、斯ウ云フ強力
ノ御意見ハ、其ノ御意見モ承リマシタガ
ナ知リマセヌガ、兎ニ角日本ノ文化デハ第
一位ニ立ツテ居ルモノデアルト思フ、其ノ
六大城市ノ市民ヲ代表シタ市會ノ内ノ又モ
スルガ、今回ニ於キマシテ原案ヲ尊重スル
ト云フコトニ付キマシテハ、其ノ御意見ニ
依ツテ直チニソレヲ採用スルコトガ出来ナ
イコトヲ遺憾トスルモノデアリマス
○濱野委員 大臣ノ御意思デハ、少クモ此
ノ特例ヲ存續スルト云フコトニ付テハ御贊
成デナイヤウデアリマス、併シナガラアナ
タノ御耳ニ入ツタノハ、三部制ヲ撤廢セヨ
ト云フ議論ト、撤廢ニ賛成デアルケレドモ、

相當置クベキモノダト云フヤウナ意見ガアルト云フコトヲ御聽キニナツテ居ルト云フコトデアリマス、又ソレモ相當考フベキモノ日本ニ於テ六大城市ノ輿論ト云フモノヲ無視シテ——其ノ他ニ輿論ト云フモノガアツセモ、凡ソ日本ノ文化ノ第一線ニ立ツベキ輿論ダト信ジテ居ルノデアリマスガ、大臣ハ左様御考ニナラナイヤウデス、言ヒ換ヘルト輿論ヲ全然無視スルト云フノカ、ソレトモ六大城市ノ輿論ハ輿論ト云フ名ガアツテ輿論ニアラズト云フ立場デアルノカ、何レニシマシテモ耳ヲ藉サナイト云フコトニナリマスト、輿論ト云フモノヲ餘り尊重ナサレナイカノヤウニ承リマスガ、ドウデアリマスカ

○兒玉國務大臣 私ハ毎々申上ゲテ居リマス通リニ、議會政治ハ輿論政治ナリト考ヘテ居リマスカラ、輿論ハ飽クマデモ尊重シタイト思フノデアリマス、併シ六大城市以外ニ輿論ガナイト云フ事柄ニ對シテハ私ハ反対セザルヲ得ナイノデアリマス、例ヘバ、三部制ノ問題ヲ捉ヘテ參リマシテ論議スル場合ニ於テモ、之ヲ廢止スペシト云フ議論ガアリ、之ヲ存置スペシト云フ今ノ六大城市ノ御意向モアリ、又今言フ通りニ猶豫期間ヲ置クベシト云フ御議論モアルノデアリマス、是レ何レモ輿論ナリト私ハ拜聽致シテ居ルノデアリマス、其ノ輿論ガ果シテ今日ノ時勢ニドレガ適應スルカト云フコトケレドモ、私輿論ニ耳ヲ傾ケズシテ獨善ノ判斷ヲスルト云フ事柄ハシナイ積リデアリ

○濱野委員 私モ六大阪都市ノ輿論ダケガ輿論ト申シタノデハアリマセヌ、少クトモ輿論ノ中ノ第一線ニ立ツベキ輿論ダト云フコシテ、假ニ一步ヲ譲リマシテ此ノ原則ヲ認メテ是ガ實施セラレルニシマシテモ、此ノ愛知縣ト兵庫縣ノ三部制ヲ施行セラレテ居ル所ダケハ暫ク準備期間ヲ與ヘルト云フコトニ付デノ御意圖ヲ伺ヒタイト思ヒマスルガ、其ノ點ニ付テ先程ノ大臣ノ御言葉ノ中ニ關シテ、私ノ意見ヲ二三申上ゲタイト思ヒマス、ソレハ發言權ニ付テデアリマスガ、市部ト郡部ガ同ジニナツテ一つノ連帶會ニナツタ時ハドウカ、是ハ東京府會トカ大阪ノ府會ナドノ實例ヲ見マスレバ、東京府ニ於ケル東京市ト云フモノハ擢ンデテ大キイノデアリマスカラ、其ノ點ノ心配ハナカツタノデアリマス、是ハ百分率デ申シマスト東京府會ハ現在デハ東京市ガ百四人、郡部ガ八人、計百十二人デ、百分率デ見マスト市ガ九十三郡ガ七、大阪ハ市ガ五十七人、郡ガ二十五人、計八十二人、ノ定員デ、「パーセンテージ」ハ市ガ七十デ郡ガ三十ト云フ割合デアリマス、勿論都市ノ合併モアリマシタカラ、以前ハサウデナカツタコトヲ私ハ認メマス、神奈川縣ハ横濱市ガ十八人、郡ガ二十九人、合セテ四十七人、「パーセンテージ」ガ市ガ三十八ノ發言權 郡部ノ議員ガ六十二ト云フコトニナツテ居リマス、翻ツテ兵庫縣ハドウデアルカト云フト、神戸市ノ人口ガ殖エマシタ爲ニ、去年ノ十月ノ選舉ニ二人定員ガ殖エマシタ、ソレヲ加算シテ神戸市二十人、郡部ガ四十三人、兵庫縣ハ大縣デスカラ、神戸市ヲ除イタ郡ガ

壓倒的デ倍ヨリ多イノデス、四十三人デス、
郡部ガ六十八デス、是ハ如何様ニ考ヘマシ
テモ神奈川縣ヨリヒトイ、神奈川縣ハ三十一
八對六十二デアルガ兵庫縣ハ三十二對六
八、言換ヘルト三ト七ト云フ形ニナルノデ
ス、又都市ト云フモノヲ考ヘマスト、ヤハ
リ執拗イヤウデアリマスケレドモ、此ノ六
大都市ノ實行委員ガ言ツテ吳レテ居ルヤウ
ニ、都市ノ成長ト云フモノハ都市人ガ一番
心配シテ居ル、他ノ者ハイクラ最員目ニ言
ツテモ自ラ差ガアル、六大都市ノ實行委員
ガドウシテモ三部制ヲ主張シテ居ルヤウニ、
其ノ一端ガ現ハレテ人口ノ集中ガ年一年多
クナリ、農村人口ヲ集中シテ居ル、神戸ノ
如キハ大キナ川崎・三菱ノ重工業ガアツテ、
農村ノ人々ガドシヽ入ツテ來テ居ル、サ
ウ云ツタ人ノ施設ガ非常ニ進展シテ居ル、
名古屋ヤ、他ノ都市トハ特別デス、同一ニナ
リマセヌ、都市ノ施設モ十分ニシテ行カナケ
レバナリマセヌ、ソレガ斯ウ云フヤウニ發
言權ガ減ツテシマツタナラバ、大臣ガ比較
的樂觀シテ下サルヤウニ中々發言權ガ旨ク
行キマセヌ、此ノ點モ實情ヲ御認識下サツ
テ居リマスカ、先ヅ此ノ點カラ伺ヒマス
○兒玉國務大臣 ドウデゴザイマセウ、ソ
レハ將來ノ問題デゴザイマスネ、三部制ヲ
廢止セラレテカラ後ノ問題ニ屬スルト思フ
ノデアリマスガ、是ハ懸政ノ運用ヲ如何ニ
シタナラバ圓満ニ行クカ、斯ウ云フ問題ニ
結局歸スル譯ダト思ヒマス、是ハ其ノ運用
ノ責任ヲ持ツテ居リマスル知事ソレ自身ガ、
只今ノヤウナ事情ヲ能ク理解ヲシテ、サウ
シテ雙方ノ利害ヲ調整スルト云フ風ニ致シ
マシタナラバ、只今御心配ニナルヤウナコ

トハ或ル場合ニ於テハ起リマセウ、ソレハ
起リマセウケレドモ、大體ニ於テ、サウ御
心配ニナルヤウナ點ハナイカト思フノデア
リマス、是ハ他ノ府縣ニ於テモ大體同ジヤ
ウナ——或ハソレダケノ數ノ差ガアルトカ
何トカ云フ事柄ハ別ト致シマシテ、他ノ府
縣ニ於テモ同ジヤウナ事態ニアル所ガ少ク
ナイト思フノデアリマス、ソレ等ノ所ニ於
キマシテモ協調ガ取レル所ハ取レルシ、或
ル場合ニ於テハ是ハ兩方對立スルコトガ考
ヘラレルノデアリマスケレドモ、此ノ場合
ニ於キマシテ之ヲ協調スルノハ地方長官ノ
責任デアリマスカラ、其ノ點ハ將來ノ問題
ニ屬スルノデアリマシテ、左程御心配ニ及
バナイノデハゴザイマスマイカ、私ノ一番
心配シテ居ルノハ、現實ニ負擔ナリ或ハ殊
ニ債務ノ關係ヲ善處スルノニ、ドウシ
タナラバ一番市ノ方ニ御迷惑ヲ掛ケズニ
濟ムデアラウカト云フ事柄ヲ、私共ハ
一番心配シテ居ルノデアリマス、ソレデ其
ノ處置ト致シマシテハ飽クマデモ公正ニ
行ケルヤウナ方法ニ依ツテヤルト云フ
事柄ガ第一ノコトデアリ、サウシテ是ガ
公正ニ負擔ノ分配等ガ行ハレテ參リマシタ
後ノ運用ハ、只今私ガ前段ニ申上ゲマシタ
ヤウニ行キ得ルノデ、萬一兩者ガ非常ニ感
情的ニナリマシテ、喧嘩腰ニナツテ行クト
云フヤウナ場合ガアリマスト、是ハ洵ニ縣
政ノ爲ニ歎カハシイコトデアル、斯ウ實ハ
考ヘテ居リマスノデ、將來ノ問題ヨリモ私
ハ差當リ之ヲ圓滿ニ解決スルノニドウシタ
ラ宜イダラウカト云ツテ、頻ニ心配ヲシテ
居ルヤウナ譯デアルノデアリマス

事ハ將來デアルト云フ御言葉ダケデハ私ハ満足出來ナイノデス、ソレハ名古屋モ左様ニアリマスガ、神戸ノ特殊ナ市ノ形成ガナルヤウニ、市ト郡トノ財政ガ一番難關デス、併シナガラ是ハヤハリ都市ノ將來ノ發展ト云フコトカラ考ヘルト、發言權ガ郡市ト相對シテ三對七デハ餘ニ開キガ多イノデス、斯様ナ場合ニ於テハ他ノ都市デハ地域ノ併合ト云フヤウナコトモ想像サレマスケレドモ、是ハ私ノ一市民トシテノ感ジアリマシテ、當局ノ歎誠ヲ別ニシテ見ルト、神戸市ハ餘所ノヤウニ行カナイ、茲ニ大選舉人員ヲ多クスレバ宜イデハナイカト言ハレルガ、是ハ出來レバ宜シイガ神戸市デハ是ハ至難デス、ナゼカト云フト、神戸ト大阪ノ間ニ於テ所謂阪神都市ト云フモノガアツテ、ソレハ限ノ住宅地デアル、勿論大臣ハ人心ノ和スカラ、神戸市ガ之ヲ併合スルト云フコトハ至難ノコトデアル、勿論大臣ハ人心ノ和ト云フコトヲ言外ニ仄カサレテ居リマシテ、兵庫縣會ト雖モ是ガ出ルカラト云ウテ直チ二喧嘩スルトハ限ラナイ、本當ニ兵庫縣ハ協調ヲ前提トシテ居リマスケレドモ、少クモ形ニ於テハ三十二對六十八、言ヒ換ヘレバ三ト七デハ餘リニ開キガ大キ過ル、サシテ是デハ神戸市ノ特殊使命ヲ全ウスルコトハ出來ナイ、將來ト言ハジマスケレドモ、重ネテ申上ダマスガ、他ノ都市デアレバ將來都市ヲ併合スルヤウナコトニ依ツテ神戸市大阪市ノ間ノ阪神「ブロック」ト云フモノハ中々併合ハ簡單ナモノデナイ、容易ナ

コトデチイノデスカラ、財政ノコトダケガ大事デハナイ、此ノ事ガ本當ハ第一番ニ大事ナコトデアルノデス、大臣ハ之ニ對シテ御理解ガアルカドウカラ同ツテ置キタイト思ヒマス
○兒玉國務大臣 段々御話ヲ承リマスガ、斯ウナリハシナイデセウカ、神戸市會ガアツテ神戸ノ自治ノ問題ハ市會ニ依ツテ之ヲ處理シテ行ク、ソコデ縣會ノ場合ニナツテ參リマスルト、郡部ノ方デハ郡部ノ各ノ選舉區カラ縣會議員ガ出テ來ル、ソコデ若シモ神戸市ト郡部ノ全體ノ利害ノ衝突ガ起ツタ場合ニ於テハ、或ハ神戸市ハ非常大不利ノ地位ニ立ツカモ知レマセヌ、併シナガラ郡部ノ議員ト雖モ各、自己ノ選舉區ノ利害關係ヲ背負ツテ立ツテ來テ居ルノデアリマスカラ、果シテソレガ一致シテ行ク場合ノミトハ想像ガ出來ナイノデアリマス、ソレカラモウ一つ考へナケレバナラヌノハ、都市ト農村トノ對立問題ガ起ツタ時ノコトヲ考ヘテ見タイ、是ハ神戸市バカリデハアリマヌ、都市ト農村トノ對立問題ガ起リマシタル時分ノコトヲ考へマシデモ、亦茲ニ違ツタ形勢ヲ馴致シテ來ルノデハナカラウカ、ソコデ是ガ圓滿ニ解決ガ出來マシタ場合ニ於テ、將來ノ問題ヲ考ヘテ見マスルト、唯郡カラ選出サレテ居ル人ト神戸市カラ選出サレル人ノ數ノミヲ以テ之ヲ豫斷スル事柄ハ、出來ナイコトハアリマセヌケレドモ、ナ人ガアツテモ二十人デハ勝テナイ、之ヲ六年前ニ神戸市カラ縣會議長トシテ上田サント云フ人ガ初メテ出タ、ソレマデハ始終郡部ノ人ガ出テ居ル、此ノ縣會議長ノ地位ノ爭ニナツタラ、政友民政其ノ他ハ郡ハ郡、市ハ市デ結束シテ、市ニハ如何ニ有爲

テ居ル所ナラ問題ニハナリマセヌガ、併シト思ヒマスノデ、大體各府縣ノ様子ヲ見マシテモ、三部制ガ圓滿ニ廢止セラレテ、其ノ後縣政ノ運用、市部ノ發展ガドウナルダラウカト云フコトヲ考ヘテ見マスレバ、恐ラクハ郡部ト市部ハ協調シ、兵庫縣ノ自治全體トシテモ滑カル運用ヲ見得ルモノト想像セザルヲ得ヌト私ハ思フノデアリマス
○濱野委員 大臣ハ實情ノ一半ヲ御承知デ、他ノ一半ノ實情ニ付テマダ十分ナ御認識ガナイヤウデス、ソレハ概念的ノコトナンデス、ソコデアナタノ今ノ御言葉ハ斯ウ云フコトニナリマス、郡ガ一致シテ市ト對抗スルヤウナ場合ガアルカ知ランケレドモ、ソハ郡部議員同志ノ間ニ於テモ亦各、利害ガアルノデハナリカト云フヤウナ御言葉デアリマス、御尤モデアリマス、一應ハ御尤モデアリマスルガ、一番早イ例ヲ申シマスト、兵庫縣デ所謂連帶ノ縣會議長ヲ出ス場合ニハ、黨派ヲ超越シテシマツテ、郡部選出ノ議員ハ郡部デ結束シテシマフ、是ハ眞ノ實情デアナタノ概念的實情トハ違フ、ソコデ是ハ何時モ郡部ニ壓倒サレテ居リマシテ、其ノ爲ニ私達ハ多大ノ苦心ヲシテ、色々協調的ナ態度ニ依ツテ、辛ウジテ一度五六年前ニ神戸市カラ縣會議長トシテ上田サント云フ人ガ初メテ出タ、ソレマデハ始終郡部ノ人ガ出テ居ル、此ノ縣會議長ノ地位ノ争ニナツタラ、政友民政其ノ他ハ郡ハ郡、市ハ市デ結束シテ、市ニハ如何ニ有爲

テノ今ヤウナ對立關係ハ解消シテシマツテ、サウシテ協調シテ行ケル途ガ開ケテ行クノデヤナイカト云フヤウニ想像モスルノデアリマス、或ハ是モ認識不足ト言ハレルナラバソレマデノ話デアリマスガ、概念的ニハサウ云フヤウニ考ヘルノデアリマス
○濱野委員 ソレカラモウ一つハ財政ノコトヲ申シマセウ、アナタハ唯飛行機ノ上カラ見ルヤウニ、田モ畠モ同ジダト云フ風ニラ見テ居ラレルガ、私共ハ飛行機デハナク汽車ニ乗ツテ見テ居ル、此ノ現實ノ姿ヲ見テ

ノ問題ニ付テ聽イテ見タイ、内務省ノ計算
デハドウ云フ風ニナリマスカ、少シハ違ヒ
ガアル、デセウガ、大體ヲ申シマスト市部ノ
負債ガ一千万圓、郡部ノ負債ガ七千万圓、
一對七ニナソテ居リマス、之ヲ「ラウンド
ナンバー」デ言ヒマスト、神戸市ノ市債ヲ
負ツテ居ルモノガ一人當リ十圓デス、是ガ
郡部ト合併シテ一ツノ經濟ニナツテシマフ
ト三十圓ノ割ニナル、人口ノ比ハ一對二、
負債ノ比ハ一對七ニナツテ居リマスガ、是
ハ一體ドウ考ヘラマスカ

○兒玉國務大臣 サウ云フ事實ハ私モ能ク
承知致シテ居リマス、之ヲ解決シマスニ
ハ、私ガ心配シテ居ルヤウニ、郡部ト市
部ノ御方々ガ知事ノ協調ノ下ニ於テ、此
ノ位ナラバ大抵宜カラウデヤナカト云フ
ヤウニ、地方的ニ御解決ヲ願フヨリ外仕方
ガナインデアリマス、ソレハ既成ノ事實デ
アリマスカラ、之ヲ廢メル上ニ於テモ此處
デ兩者ガ協調致シマシテ、此ノ問題ヲ御相
談願ツテ、適當ナル所ニ御納メ願フヨリ外
ハ方法ガナイト思ツテ居リマス

○濱野委員 是ハ大切ナ問題デス、協調ト
云フコトハ出來レバ結構デアリマシテ、
吾々モ及バズナガラ協調ニハ骨ヲ折リタイ
シ、何モ兩者相争フト云フコトハ考ヘテ居
リマセヌガ、最後ノモノガ來タ時ニハドウ
スルカ、市部ノ者ノ決議ニ依ル負債ハ市部
ノ選出ノ代表者ニ依ツタモノデアルカラ、
市部ノ者ガ責任ヲ持ツガ、郡部ノ負債ハ郡
部ノ者ガヤツタノデアルカラ、當然郡部方
ガ風ニ解釋シマスカ、市民ノ代表者ニ依ツ

當然デス、併シ合併ノ結果市民ノ代表者ガ
參加シテ居ラナクテ決議サレタ負債、即チ
十圓ノ外ニ二十圓ヲ加ヘタ三十圓ノ負債ニ
ナリマスカ、其ノ三部制廢止ニ因ル二十圓
ノ負債ヲ頭割ニ受ケルト云フコトハ、法律
上ソレガ宜イト云フコトハドウ云フ所カラ
言ヒ切レマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○兒玉國務大臣 市部ガ負債ヲシ郡部ガ負
債ヲスル、要スルニ是ハ現在ノ大體ノ觀念
カラ申シマスレバ、負債主ハ市デアリ
又郡部デアルト致シマシテモ、縣住民ノ
全體ヲ負債ト云フコトニ相成ルノデアリ
マス、ソコデ今ノ市部ノ負債ヲ、如何ニシテ
公平ニスルカト云フ途ハ色々アリマセウケ
レドモ、其ノ方法ト致シマシテハ、或ハ或
ル部分ヲ縣債ニ移ストカ、或ハ或ル部分ハ
縣ガ補償スルトカ色々細カイ方法ガアリマ
セウガ、其ノ一口ノ方法ニ付テ、私ガ斯ウ
シタラ宜カラウ、ア、シタラ宜カラウト言
譯デアリマスカラ、是等ハ知事ヲ中心ト致
シマシテ、地方的ニ斯ウシタラ宜カラウ、
モ役ニ立タナイカラデアリマス、サウ云フ
フマデノ考ハ持ツテ居リマセヌ、ト云フノ
ハ實際ノ事情ニ即應シナイヤウナ考ヲシテ
モ役ニ立タナイカラデアリマス、サウ云フ
シテ、ソコデ纏リマシタ事柄ハ、大體ニ於
テ是ガ代表者ノ話合デアルナラバ、是ハ兩
市部ガ或ル幾分ヲ出シ郡部ガ或ル幾分ヲ出
クハ私ハ市部ニ餘リ迷惑ニナラヌヤウニ、

郡部ニ於テモ是ナラバト云フ所ニ落付カナ
ケレバ、其ノ懇談ト云フモノハ纏ラナイ譯
デアリマスカラ、懇談ガ纏リマシタ場合ニ
於キマシテハ、私ハ市部ニモ郡部ニモ納得
ノ行ケルヤウナ結果ニ落着イタ所デ、其ノ
話ト云フモノハ付クモノデアラウ、斯ウ云
フ風ニ考ヘテ居リマス、併シゾコニ自ラ利
害關係ガ異ツテ居ル點モアルカラ、兩方ハ
互讓ノ精神ヲ以テ行カナケレバ、是ハ出來
ナイコトデアリマス、其ノ間ニ立ツテ親切
ニ世話スルノガ知事デアル、知事が親切デ
アリオ互ニ互讓ノ精神ヲ以テヤリマスレ
バ——而シテ是ハ決シテ根本ニ於テ惡イト
云フコトデハナイノデ、斯ウナル事柄ガ宜シ
イト云フコトデアリマスナラバ、其ノ宜シ
イト云フ方向ニ向ツテ、茲ニオ互ニ苦痛ヲ
忍ビ、互讓ノ精神ヲ以テヤリマスレバ、圓
滿ニ解決出來ルデアラウ、又サウセザルヲ
得ナイノデアリマス、是ハ今申上ゲマシタ
通リ此ノ間ニ立チマシテ、私トテモ又知事
トテモ、親切ナル考ヲ以テ之ヲ處理シテ行
クト云フコトハ無論ノ話ダト思フノデアリ
マス

市部ノ二十人ノ縣會議員ガ市部會ヲ作ツテ、
ソコデ審議シ決議ヲシタナラバ直チニソレ
ガ決定スルノデアツテ、連帶會ノ決議ヲス
ルノデハナイ、ヒヨツトスルトアナタハ考
ヘ違ヒヨシテ、市部會デ決ツタモノヲ連帶
會デヤリ直スト思フカモ知レマセヌガサウ
デヤアリマセヌ、市部ノ負債千万圓ハ市部
ナラ市部ダケデアツテ居ル、又郡部ナラ郡
部ダケデヤツテ居ル、ソレダノニ縣ガ負債ノ
主體ダト云フコトハドウシテモ言ヒ切レナイ
デセウ、其ノ言ヒ切レナイモノヲ、三部制撤
廢ニ依ツテ改メテ「一セント」一〇ノモノガ
倍額ノ二〇餘ヲ分ニ受ケルト云フ、憲法上ノ
原則ハ何處ニアルカト云フコトヲ伺ツタ上
デ、私ハ又質問シナケレバナラヌト思フ
○免玉國務大臣 憲法上ノ責任ト云フコト
ガ一寸理解シ兼ネルノデアリマスガ、無論
市會ノ決議ハ市會ガ議決シテ、是ガ責任ヲ
負フノデアリマスカラ、市ハソレダケノ負
擔ニ止ツテ居ル譯ニアリマスガ、併シ其ノ
市ノ負債ヲ許シマスノハ知事ガ之ヲ認可ス
ル、斯ウ云フ譯ニナツテ居ルト思フノデア
リマス、ソコデ是ハオ互ニ話合ガ出來マシ
テ、サウシテ斯ウ云フ風ニシタラ宜イデヤ
ナイカト云フコトデアリマスルナラバ、恐
ラク市部ニ於テハ市會ニ於テ之ヲ認ヌテ、
サウシテ是ガ問題ニナル、斯ウ云フ風ナ順
序ヲ經得ルモノデヤナイカト思フノデアリ
マス、但シ是ハ度々申上げマス通りニ、細
部ニ瓦リマシテ如何ニシタラ宜イカト云フ
コトニ付テノ方法ニ付キマシテハ、實ハ此
ノ間知事ヲ呼ビマシテ、一ツ能ク考ヘテ置
クヤウニト云フコトニナツテ居リマスノ
デ、今私ガ是レ以上ニ細カク斯ウシタラ宜
イ、ア、シタラ宜イグラウト云フコトヲ言

フコトハ、却テ問題ヲ解決スルノイ困難ヲ生

ズルヤウナ結果ニナル虞モアリマスシ、又

知事ガ折角地方ノ實情ニ即シテ心配シテ居

ルノニ、私ガ今總體論ヲ申上ゲテ置クト云

フコトハ、却テ此ノ問題ヲ解決スルノニ宜

シクナイヤウニ考ヘマスノデ、此ノ問題ハ

此ノ程度ニ御止メ願ヒマシテ、サウシテ是ノ

解決ノ方法ハ地方的ニ知事ヲ中心トシテ圓

滿ニシテ行クト云フコトニ御諒解ヲ願ツテ

置キタイ、斯ウ思ヒマス

○濱野委員 大臣ノ御厚意ハ諒トシマスケ

レドモ、アナタハ實情ヲ御承知ナイカラ無

理難題ノヤウニ思ハレル、市會々々ト仰シ

ヤイマシタケレドモ、市會ノ間違ニアリ

マセウ、市部會ト云フノハ神戸市選出ノ縣會

議員ダケデ出來テ居ル、郡部會モ同様デス、

市部會デ市ノ負債ニナルベキ縣債ヲ決定シ

タラソレデ有效ナンデス、ソレデ債務ヲ負

部會ノ七千万圓ノ負債ニ付テハ市部ノ議員

ハ何モ關與シテ居ラナイ、自分ノ代表者ガ決

トシタラ、ソレハ由々シイ問題デアル、郡

府縣制ノ改正ニ依ツテ之ヲ廢止シテ、新ニ

神戸市民ガ何モ關係ナク、經濟上カラ言ツ

タナラバ何ノ利益を得テ居ラナイ郡部ノ負

債——經濟上モ自分ノ代表者が參加シテ居

ラナイ、憲法上カラモ何モ關係ノナイ所ノ

負債ヲ、新ニ三部制撤廢ニ依ツテ受ケルノ

ハ由々シイ問題デハナイデセウカ、若シソ

レガ問題デナインラバ增稅ナント云フコト

ハ必要ハナクナル、ドン／＼思フ通リヤツ

タラ宜イノデス、ソレヲアナタハ憲法上カ

ラ御考ニナツテ居ラナイカモ知レナイガ、

是ハ重大問題デスカラモウ一遍伺ヒマス

○兒玉國務大臣 私ハ憲法上ノ問題ニナラ

スト申上ゲタノデハナイノデ、其ノ點ガ私

テハツキリシナイ、斯ウ申上ゲタノデア

リマス、ソレハ特ニ法律論トシテ研究ノ餘

地ガアリマセウ、又研究ヲシテ見マセ

ウ、併シ此ノ問題ヲ處理スルノニ、只今御

話ニナリマシタケウナ方法ノミニ依ツテ處

理スルト云フコトニ限局シテ考ヘナイデモ

宜イデハナイグラウカ、色々實際問題トシ

テ臨機ノ處置ヲ執ツテ、サウンシテ圓滿ニ解

決スル途ハ、必ズシモアナタノ仰シヤツタ

ヤウナ方法ノミヲ考ヘル必要ハナイノデ、

是ハ私ハ土地ノ事情ガハツキリ致シマセヌ

カラ、事情ニ精シイ所ノ知事ヲ中心トシテ

ヲドウシテ負フノダ、コンナコトデハ憲法

云フコトヲ伺ツタ、是ハ法律上ノ問題デア

ル、立憲政治ハ國民ノ負擔ハ自分ノ代表者

ノ參加シテ居ルコトニ依ツテ其ノ責任ヲ負

フ、是ガ租稅ノ建前デアル、租稅ニ代ルベ

キ公債ニ付テノ償還ノ責任モサウデアル

ト思フ、天下何人ガソレニ異議ガアリマスカ、

今更考究デドト云フコトハ意味ヲ成サナイ、

ソコデ私モ大局カラ申上ゲタイ問題ハ、斯

ウ云フコトニシテ戴ケヌノデスカ、妥協デ

スガ、文化ノ第一線ニ立ツテ居ル六大城市

ノ輿論ガ存續セシムベシト云フ意見モアリ

マス、廢止スベシト云フ意見モアリマス、

併シ神戸、名古屋ノ市民ハ、政府ノ方デ御

考歴下サルナラバ、原則トシテ三部制度撤

廢デモ異議ガアリマセヌ、併シ他ノ都市ノ

ヤウニ準備期間ヲ與ヘテ居ナイノデスカ

ラ、ココデ準備期間ヲ與ヘテ下サラヌカ、

是ガ本當ニ切ナル希望ナノデス、サウシテ

經濟上ノ利益ヨリモ、市民ノ多年ノ鬱積セ

ル希望ヲ政治的ニ考慮シテ戴キタイト云フ

コトヲ、私ガ先刻カラ申シタカツタ、所ガ

大臣ハソレヲ御考下サルノニ餘リニ大難把

ノ御考ノヤウデアリマシタノデ、思ハズ未

梢的ノコトヲ申上ゲタノデスガ、本當ノ切

ナル希望ハ、數年ノ間實施期間ヲ置イテ戴

キタイ、他ノ撤廢シマシタ都市ト同様ナル

準備期間ヲ與ヘテ、サウシテ之ヲ政治的ニ

準足サシテ戴キタ伊、斯ウ云フノアリマ

ス、大臣ノ先程仰シヤイマシタ大イニ考慮

ガ愛知縣ナリ兵庫縣ナリヘ出掛けテ、ソレ

ト云フ言葉ハ、私共ニハサウ云フ風ニ響イ

テナラインデアリマス、私ハ此レ以上答

用意ガアルカ、サウ云フ御考ガアルカ、御

出掛けテ行ツテ、ソレダケノ勞ヲ執ツテ

ト思ヒマス

ニ御處置ヲ願ヒタイト思ヒマス

○立川平君 一寸關聯シテ……

○小山委員長 立川君ハ委員デハアリマセ

ヌガ、特別ニ許シマス、簡單ニ願ヒマス

モ關係縣ノ一人デスガ、此ノ問題ニ付テ隨

三部制ヲ廢止スルト云フ意見ノ人ト、シナ

イト云フ意見ノ人ガアルノデアリマスカ

ノ解决ノ衝ニ當ツテ居ル六大城市

モ關係縣ノ一人デスガ、此ノ問題ニ付テ隨

三部制ヲ廢止スルト云フ意見ノ人ト、シナ

○兒玉國務大臣 御答致シマス、此ノ問題ノ善後處置ニ付キマシテハ、當ノ責任者アル地方長官ハ勿論ノコト、内務省自身ト致シマシテモ、出來ルダケ親切ニ、且又圓滿ニ解決スルヤウニ努力ヲシタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス。

ソレカラ先程ノ濱野君ノ御問ニ御答ヲ申上ガマスガ、折角ノ妥協的ノ御意見デアリマスガ、是ハ御意見トシテ一應承ツテ置クト云フ程度ニ止メテ置キタイト思ツテ居リマス。

○小山委員長 山川君、極ク簡單ニ願ヒマス

○山川委員 私モ兵庫縣ノ選出デゴザイマシテ、郡部ニ屬スル者デアリマス、只今承ツテ居リマスト、濱野サンカラモ段々御質問ガゴザイマシタガ、是ハ市部ノ代表ノ意見デゴザイマシテ、縣カラ色々ト頼ミニ行ツテ居ル、縣會議員ガ頼ミニ行ツテ居ルト云フ御話ノ中ニ、縣民ガ、兵庫縣ヨリ、愛知縣ヨリト、斯ウ言ハレマンシタガ、サウデハナイ、兵庫縣ノ中ノ市部ヨリ、郡部ヨリ、愛知縣ノ中ノ市部ヨリ、郡部ヨリ、斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、此ノ説ガ二ツニナツテ居ルノデアリマス、是ハ御承知願ツテ居ルコトトハ存ジマスガ、ソレヲ一寸申上ゲテ置キタイソレカラ今度ノ此ノ法律ガ出タノハ、非常ニ咄嗟ノ間に殆ド披討ノヤウナ形ダト云フヤウナ御話モゴザイマシタガ、私モ縣會ニ四期出シテ戴キマンテ、此ノ問題ニハズツト關係シタノデアリマスガ、何トカシテ之ヲ改メナケレバナラヌト云フノデ、ソレコソ今濱野サンヤ立川サソノ仰シヤイマス通り、モウ少シ内務省ノ方ニ御親切ガゴザイマシタナラバ、モウ是ハ疾ニ解決シテジマツテ居ル問題デアリ

マス、ケレドモ中央ハ地方問題ニ關興シテハウルサイト云フヤウナ態度デアリマシタカラ、今日マデ是ハ殘ツテ居ル問題デアリマシテ、中々容易ナラザル經過ヲ今日マデ經テ來テ居ル譯デゴザイマス、決シテ咄嗟ニ出タ問題デモ何デモナイ、若シ此ノ度之ヲ此ノ儘抛ツテ置カレルト云フコトニナリマシタナラバ、市部債郡部債ノ兩方ニ於テ始末ガ付イテシマフマデ待ツテ、而シテ後ニ之ヲ施行シヨウカト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、百年河清ヲ待ツヤウナモノダ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、何等力是ノ跡始末ノ不均衡ノ點ガアラウト思ヒマスガ、ソレニ付テハ内務大臣ヨリ先程來懇々ト色々御話モアリマシテ、知事サシヲ中心トシテ内務大臣ガ仲裁ノ位置ニ立ツテ行ケルト云フ思召シモゴザイマシタノデ、其ノ事ハ後ノ問題トシテ、此ノ度ハドウシテモ此ノ法律ハ税制改革ト共ニ、少シモ瑕ヲ持タサナイヤウニ通過ヲ望ムノデアリマス、是ハ意見ニナリマスガ、一寸申上
ゲテ置キマス

ト云フコトハ、如何ニモ憲法ノ精神ニ反シタ、自治ノ根柢ヲブチ壞ス所ノ行キ方デアル、ソコデ此ノ案ヲ合理的ニスルニハ、ドウシテモ過去ノ借金ニ付テハ地元ノ協議談合ト云フコトガ基礎ニナラナクテハイカヌ、其ノ協議談合ノ基礎ノ上ニ此ノ案ガ實施サレルト云フコトニ於テ、初メテ合理的ニナルノデハナイカ、斯ウ云フコトニ私共ハ考ヘルノデアリマス、所ガ其ノ協議談合ヲ致シマスニ付テ、政府ノ御意向デハ此ノ六月カ、或ハ八月頃知事ニ案ヲ出サシテ、之ヲヤラセヨウト云フ御意向ノヤウニ承リマス、所ガ御承知ノ通リ四月一日ニナレバ市部會、郡部會ト云フ足場ガナクナツテシマフ、サウスレバ此ノ協議談合ヲヤルベキ基礎ト云フモノガナクナツテ、四月一日ニナリマスレバ、市部會議員、郡部會議員ト云フモノハ消エテシマフ、サウシテ單獨ノ縣會議員ト云フモノガ茲ニ残ツテ來ル、サウナリマスルト郡部ノ方ガ數カ多イ、市部ノ方ガ數ガ少イ、一票々々デ争ヘバ郡部ノ言分ニナルヨリ仕様ガナイ、サウナリマスト協議談合デハナク問題ガ數ニ依ツテ決定サレテシマフ、所ガ政府ノ方ノ御意向デハ、其ノ場合知事が公平ナ案ヲ出スカラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ仰セデアリマジテ、若シ之ニ郡部ノ多數ノ者が賛成セヌト云フコトニナレバ、或ハ原案執行ト云フヤウナ途モアルデヤナイカ、斯ウ云フ仰セデゴザイマス、併シ市部ノ得心ノ出來ル案ヲ知事ガ出シタ場合ニ、郡部ガ多數ヲ以て議決シテシマヘバモウソコニハ原案執行ト云フヤウナモノモ何モナイ、結局數ニ於テ壓倒サレルト云フコトニナツテシマフ、

ソコデ今一ツ此ノ問題ガ重要デアリマス
コトハ、實ハ御承知ノ通り是ハ今日ノ純然
タル政治問題ニナツテ居リマス、經濟的ノ
問題デアルト同時ニ、純然タル政治問題ニ
ナツテ居ル、昨年ノ縣會議員ノ選舉ノ時ニ
モ、市部ノ縣會議員ノ者ハ其ノ政見ノ中ニ
一齊ニ此ノ三部制ヲ存置スルト云フコトヲ
加ヘテ、縣民ニ約束シタ、郡部ノ縣會議員
達ハ三部制ハ廢止スペキモノデアルト云フ
コトヲ約束シテ居ル、サウシテ兩々相對立
シテ參リマシタ問題デアリマシテ、今日ハ
純然タル政治問題ニナツテ居リマス、所ガ
今度三部制ガ廢止サレルト云フコトニナリ
マシタノデ、多年ノ郡部ノ主張ハ所謂七分
方顏ガ立ツタノデアリマス、ソコデ残りノ
三分、即チ猶豫期間ヲ置イテ協議談合ノ機
會ヲ興ヘルト云フコトニシテ戴キマスレ
バ、市部側ノ顏モ三分立ツ、一體此ノ問題
ハ郡部ト市部トガ永久ニ喧嘩別レヲスルモ
ノデナクテ、逆ニ今マデ別々ノ釜ノ飯ヲ食
ツテ居ツタノガ、一ツ釜ノ飯ヲ食ハウト云
フノデアリマスカラ、將來トモ永ク仲好ク
付合ツテ行カケレバナラナイノニ、此ノ
問題ガ解決スルヨトニ依ツテ一方ガ徹底的
ニ禍根ヲ貽シ、拭フベカラザル憾ミヲ遺シ
マシテ、折角三部制ヲ廢止致シマシテモ、
其ノ趣意ニ反スルト云フ結果ヲ招來スルヨ
トニナルノデアリマスカラ、中間ニ居ラレル
政府ト致シマシテモ、行政上ノ措置トシテ
ハ當然茲ニ猶豫期間ヲ存置シテ、ソコニ協

